



Daiwa House®
大和ハウスグループ

ダイワハウスの賃貸住宅

D-ROOM

D-ROOM 住まいの手引



号室用

INDEX(目次)

ごあいさつ

このたびはダイワハウスの賃貸住宅へご入居いただき、厚くお礼申し上げます。ダイワハウスは、つねに、安全性・居住性・耐久性などの研究と改良を重ね、快適な住まいづくりを提案しております。

さらに、快適な住まいとして充実のライフスタイルを満喫いただけるよう、「住まいの手引」をご用意しました。簡単なメンテナンス方法から、安全にお住まいいただくためのご注意、緊急の処置、心地よくお住まいいただくためのミニ知識などを掲載しております。ぜひ、ご利用ください。

安全で、快適にお住まいいただくためのご注意

危険・警告・注意・留意別の表示一覧	P 1
表示マークの説明	P 2

ご入居時・ご退居時のチェックポイント

ご入居時の連絡、点検事項のご注意	P 3
＜電気・ガス・水道・電話・その他＞	
ご入居時の手続きチェックリスト	P 4
お引っ越し時のご注意	P 5
ご入居後のご注意	P 6
ご退居時のご注意	P 7
ご退居手続きスケジュール	P 8

住まいの健康な環境づくりのために

十分な換気で空気をキレイに	P 9
快適な住まいへの気配り	P11
近隣への気配り	P12
ご近所と仲良く暮らすポイント	
共用施設の利用について	P12

住まいのお手入れと上手な使い方

1.玄関

①玄関床の水洗いはしないでください	P13
②玄関ドアのお手入れ	P13
③カードロックの使い方	P14
④ICカードロックの使い方と電池交換について	P14
⑤ドアの開閉をスムーズにする	P18

2.外部建具(引違い窓)

①アルミサッシ	P19
②網戸	P22
③お手入れ	P22
④遮熱スクリーン	P24

3.キッチン

①キッチンのお手入れ	P25
②吊戸棚の扉ブルラッチのしくみと解除の方法	P26
③排水口が詰まった時	P26
④レンジフードファンの汚れがひどい時	P27
⑤加熱調理機器	P27

4.浴室

- ①ユニットバスのお手入れ P29
- ②入浴後は必ず換気を P29
- ③排水口のゴミの処理について P30

5.洗面所

- ①洗面化粧台の注意点とお手入れ方法 P31
- ②洗面ボウルに指輪などが落ちた時 P31
- ③洗濯機の給水・排水ホースの取り付け P32

6.トイレ

- ①トイレが詰まった時 P33
- ②トイレの水が止まらなくなった時 P33
- ③水が出ない時 P34
- ④ドアのカギを外側から開ける時 P34
- ⑤温水洗浄便座のお手入れとご注意 P34
- ⑥暖房便座のお手入れとご注意 P35

7.居室(リビング・洋室・和室)

- ①シート貼フローリング(木目調・大理石調)のお手入れ P36
- ②クッションフロア・塩ビタイルのお手入れ P36
- ③畳のお手入れ P36
- ④水廻り用フロア P37
- ⑤タイルカーペットのお手入れについて P37
- ⑥クロスのお手入れ P37
- ⑦調湿化粧板 P37

8.収納・内部建具

- ①小屋裏収納・ステップ収納 P38
- ②クローゼットドア P39
- ③カーテンレール P39
- ④室内窓 P39
- ⑤内部建具 P40
- ⑥ワンステップクローゼット P43
- ⑦マルチシステム収納 P43
- ⑧押入れ P44
- ⑨レールニッチ収納 P44
- ⑩いすっこ P44
- ⑪トイレサイドカウンター P44
- ⑫その他使用上の注意事項 P44

9.電気

- ①照明器具 P45
- ②ブレーカーが切れた時 P45
- ③エアコンは専用回路でお使いください P46
- ④エアコン用スイッチ付コンセント P46

- ⑤保安灯 P46
- ⑥テレビ端子の接続 P46
- ⑦住宅用火災警報器 P46
- ⑧住宅用自動消火装置 P48
- ⑨太陽光発電システム P49

10.ガス

- ガスもれに気づいたら!! P50

11.水道

- ①水栓金具のお手入れ P51
- ②水栓から水もれする時 P51
- ③凍結の防止対策 P52

12.給湯

- ①ガス給湯器の使用上の注意 P53
- ②電気給湯器(ヒートポンプ式給湯器・電気温水器) P53
- ③電気給湯器(ヒートポンプ式給湯器・電気温水器)のお手入れ P53

13.バルコニー・他

- ①バルコニー P54
- ②その他ご注意 P54

14.共用部分

- 廊下・階段について P55

ペット飼養のご注意

- ペット飼養にあたって P56
- ペットと清潔・快適に暮らすためのご注意 P56

セキュリティサービス・インターネットサービスのご注意

- セキュリティサービスについて P56
- インターネットサービス使用上のご注意 P56

災害時の緊急対応

- 災害・緊急時に備えて P57
- 火災の予防について P58
- 火災が起きた時の対処方法について P59

※建物により設備等の仕様が異なるため、該当しない設備等の項目が含まれている場合があります。予めご了承ください。

安全で、快適にお住まいいただくためのご注意

- ★ご入居時に、この「住まいの手引」を必ずお読みください。
- ★この賃貸住宅に付属の機器をお使いになる前に、各機器の取扱説明書を必ずお読みください。
ご使用後は紛失しないように、「住まいの手引」と一緒に保管してください。
- ★各機器の取扱説明書を参考にお手入れをお願いします。
- ★各機器や付帯物に対してお手入れ方法や使い方を間違いますと、重大な事故発生の危険性があります。
正しい取り扱いをお願いします。
- ★ご入居時に、安全性についてお気づきの点がございましたら、管理会社へご連絡ください。
- ★ご退居時は「住まいの手引ファイル」を返却してください。

右頁の表示マークは、賃貸住宅内の機器や設備のご使用時およびお手入れ時にみなさまに注意をうながすものです。

「住まいの手引」では、主な紹介事項に4種類のマークのいずれかを表記しております。

以下に、その主なものを一覧にしましたので、ご使用時やお手入れ時にご参照のうえ、安全で円滑な取り扱いのためにお役立てください。

危険・警告・注意・留意別の表示一覧

ご入居の際には、この「住まいの手引」同様、各住宅機器メーカーの取扱説明書をよく読んで、その使用方法に沿ってお使いください。

危険



- | | | |
|----|---|-----|
| 換気 | ●開放型暖房器具での一酸化炭素中毒 | P11 |
| 浴室 | ●ガス中毒の原因になります！ | P29 |
| 電気 | ●電気事故を防ぐための注意事項 | P45 |
| ガス | ●ガスもれに気づいたらガス栓を閉めて、
直ちにガス会社へ連絡してください | P50 |
| 給湯 | ●ガスもれに気づいたら、プロパンガス・都市ガスとともに
窓を開け自然換気してください | P50 |
| | ●ガスもれしたら電気関係のスイッチを入れないでください！ | P50 |
| | ●ガス使用上の注意事項 | P50 |
| | ●ガス給湯器異常時の処置 | P53 |

警告



- | | | |
|------|---|-----|
| 外部建具 | ●アルミサッシの外れ止めは、必ずセットしておいてください… | P20 |
| | ●アルミサッシは重く、倒れると危険ですので
2人で外すようにしてください | P21 |
| | ●網戸の外れ止めは落下防止のため、
普段は必ずセットしておいてください | P22 |
| | ●アルミサッシ・網戸使用上の注意事項 | P23 |
| | ●トップライト使用上の注意事項 | P23 |
| 浴室 | ●防熱板のお手入れ | P25 |
| | ●風呂蓋の上にのぼるとあぶない | P30 |
| | ●熱湯による火傷 | P30 |
| 収納 | ●小屋裏収納使用上の注意事項 | P38 |
| | ●はしご使用時の安全に関する注意事項 | P38 |
| | ●突き出し窓の開閉部に顔や頭をいれない | P39 |
| | ●絶対に分解・改造しない | P39 |
| | ●エアコンは、下地が入っているところに設置する必要があります | P46 |
| | ●煙感知器・熱感知器のお手入れ方法 | P47 |
| | ●ノズルが目詰まりすると消火薬剤が放射しないおそれがあります… | P48 |
| 給湯 | ●ガス給湯器取り扱い上の注意事項 | P53 |

バルコニー・他
共用部分

- 転落の危険
- 隔壁板の使い方
- 避難ハッチについて
- エアコン室外機設置台に乗らないでください
- バルコニーからの落下
- 廊下からの転落
- 廊下からの落下

注意



玄関
外部建具
キッズ

- 玄関床の水洗いはしないでください
- カードロック使用上の注意事項
- 電池の+/-を逆にして入れないでください
- 古い電池と新しい電池を混同して使わないでください
- 複数の違う電池を混同して使わないでください
- 電池は単3形アルカリ乾電池か単3形リチウム乾電池をご使用ください…
- 必ず電池カバーを取り付ける前に動作確認をしてください…
- 電池の向きを間違えて入れてしまった場合、
電池カバーがはずれなくなることがあります
- 9V角電池はアルカリ乾電池を使用してください…
- ドアクローザーの調整弁は必要以上に回したりしないでください…
- ガラスの熱割れ現象について
- 遮熱スクリーンの操作上の注意事項
- 遮熱スクリーンの巻き取り調整上の注意事項
- 遮熱スクリーン使用上の注意事項
- 人工大理石の取り扱い上の注意事項
- 吊戸棚の扉ブルラッチのしくみと解除の方法
- 吊り戸棚には重いものを載せ過ぎないようにしてください…
- 床下収納庫の蓋は必ず閉めておきましょう！
- 加熱調理機器をご使用の前には、必ず商品の「取扱説明書」
をお読みのうえ、正しくお使いください…
- ガスコンロをご使用の前には、必ず商品の「取扱説明書」を
お読みのうえ、正しくお使いください…

法定点検にご協力ください。

消火器、自動火災報知器、避難ハッチおよび避難はしごについては、消防法による法定点検が必要です。また、ビルトイント式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機については、平成21年4月1日以降に製造したものは消費生活用製品安全法による法定点検が必要となります。安全に作動し、劣化事故を防止するため、点検の通知があればご協力をお願いします。また、通知は家主様または家主様の依頼による取り扱い会社・製造業会社からとなりますので、これ以外の関係者を装った悪質な業者にはご注意ください。

表示マークの説明



危険

誤った取り扱いをされると、場合によっては使用者や第三者が死亡または重傷を負う可能性がとても高く、たいへん危険です。



告白



注意 注意マーク

誤った取り扱いをされると、場合によっては使用者や第三者が軽傷を負ったり、物的損害が生じるおそれがあります。



留意 留意マーク

使用方法・手入れ方法は一般的ですが、ご注意いただきたい項目には留意マークを表示しております。

「住まいの手引」はいつでも取り出して見やすいように、わかりやすいところに大切に保管しておきましょう。

浴室	●ユニットバスのお手入れ	P29
	●浴室では指定されているランプ以外は使わないでください	P30
	●浴槽を傷めないために	P30
	●浴槽への転落	P30
	●浴室を傷めないために	P30
洗面所	●洗面化粧台の注意点とお手入れ方法	P31
	●洗濯機の給水・排水ホースの取り付け	P32
	●洗濯機排水トラップ・防水パンのご使用	P32
	●ロータンクの中にペットボトルなどの異物を入れるのはやめましょう	P33
トイレ	●トイレ使用上の注意事項	P35
	●暖房便座による低温火傷	P35
	●ワックス掛けについて	P36
	●塩ビシートの取り扱いについて	P36
居室	●小屋裏収納・ステップ収納にはワックス掛けはしないでください	P38
	●クローゼットドアの開閉にはご注意ください	P39
	●カーテンレールに洗濯物を干したり重いものを吊らないでください	P39
	●ぶら下がったり、よじ登ったりなどしない	P39
	●強い衝撃を与えたたり物をぶつけたりしない	P39
収納・内部構造	●シンナーやアルコール・ベンジンなどの溶剤でふかない	P39
	●物をぶら下げない	P39
	●窓の開閉中に手足や指を入れない	P39
	●幼児が単独で開閉操作を行わないようにする	P39
	●幼児が手足や指をはさまないように窓の開閉を行う	P39
	●インテリアドア・インテリア引戸取扱い上の注意	P41
	●建付け調整時・レバーハンドルの調整時の注意	P42
	●ワンステップクローゼット使用上の注意事項	P43
	●中段・枕棚使用上の注意事項	P44
	●いすっこ使用上の注意事項	P44
	●トイレサイドカウンター使用上の注意事項	P44
	●その他使用上の注意事項	P44
	●天井点検口は、常時は閉めておいてください	P44
電気	●エアコンの運転方法について	P11
	●照明器具は600W以内、かつ5kg以内のものを	P45
	●点灯中や消灯直後は、ランプやその周辺に触れないでください	P45
	●必ずエアコンの動作が停止してから スイッチ操作を行ってください	P46
	●エアコンに機能が付いている場合	P46

電気	●お手入れ後、ヘッドを取り付ける場合 P47
	●ヘッド取り付け後、必ず動作確認をしてください P47
	●ヘッドとベースを取り外したり、取り付ける時は、 ヘッドの外周を持ってください P47
水道	●パワーコンディショナを緊急停止する P49
	●混合栓を使用の際は、先に水から出す習慣をつけましょう P51
	●水道の安全上・使用上の注意事項 P52
バルコニー	●水道管と給湯器の凍結防止 P52
	●水道管が凍結した場合は、熱湯はかけないでください P52
	●バルコニーのご使用について P54
	●物干金物のご使用について P54
	●バルコニーご使用の注意事項 P54
共用部分	●廊下・階段について P55
	●階段の踏み外し P55

留意



換気	●ご入居後すぐは、化学物質の未放散分等にご注意ください … P 9
	●ファン、グリル、換気扇のルーバー、フィルターは半年に1度お手入れしてください … P10
洗面所	●結露・カビに対する室内の留意事項 … P11
	●ステンレスの取り扱い上の注意事項 … P25
浴室	●入浴後は必ず換気を … P29
	●浴室の修復はお早めに … P30
トイレ	●洗面化粧台の抗菌仕様について … P31
	●全自动洗濯機をお使いの場合 … P32
居室	●便座の抗菌仕様について … P35
	●より長く美しくお住まいいただくための留意事項 … P36
電気	●共用部の照明が切れている … P45
	●容量を超えた電気製品のご使用を止め、5分程度待ってからブレーカーをいれてください … P45
	●エアコン・電子レンジ・食器洗い乾燥機は専用回路をご使用ください … P46
	●周囲の照度が低くなつても点灯しない場合は、電池交換が必要です … P46
	●電気給湯器を長期使用しない場合 … P53

ご入居時・ご退居時のチェックポイント

ご入居時の連絡、点検事項のご注意

	ご入居前・ご入居時（連絡事項）	ご入居時・ご入居直後（点検事項等）
電気	<ul style="list-style-type: none"> ●電力会社へ通電の申し込みを行ってください。 ●分電盤に記載されているアンペアを超えて使用する場合も最寄りの電力会社へお申し伝えください。 ●太陽光発電システム設置の物件で各住戸に配電（系統連係）されている場合は、別途電力会社との契約が必要となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ご入居されたら、分電盤のスイッチを「入」または「ON」にしてください。
ガス	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス供給業者へ開栓の手続きを行ってください。 ・都市ガスの場合、ガスマーターにかけてあるカードに、ガス会社名が記入してありますのでご入居される日をガス会社に連絡してください。ガス会社の担当者が開栓とガス器具の取り扱い注意を説明に来ます。 ・各戸プロパンガスの場合は、ガス供給業者がガスマーターを取り付け、再度ガスもれがないかなどの点検・検査をしたうえで、ガスを供給するよう義務づけられています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス器具はプロパン用・都市ガス用・天然ガス用などがあり、それぞれ機種が異なりますから、ガス種別をよく確認してからお使いください。異なるガス対応の機種は最寄りのガス会社のサービスセンターに連絡すれば調整してくれます。 ●ガスの使いはじめの時には、ガス管内に残っている空気のためガスが出にくいことがあります。コックを開いて空気を抜いてください。
水道	<ul style="list-style-type: none"> ●最寄りの水道局に連絡して開栓の手続きを行ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●最初に水を使用される前に、配管内の古い水やゴミを除去するため、給湯器の水栓を含めて全水栓を全開にして数分間水を流し続けてください。
電話	<ul style="list-style-type: none"> ●引き込み時は、費用がかかる場合があります。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●引越し業者への手配はなるべく早めに。春の引っ越しシーズンは特に混み合います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●近所へのあいさつ 一般的には、引っ越してきたら3日以内を目安に、ご近所にあいさつにまわらるとよいでしょう。

ご入居時の手続きチェックリスト

お引っ越しについてはいろいろな手続きがあります。スケジュールをお立てになるときの参考にしてください。

届け出先	手続きの種類	届け出人	手続きに必要なもの	備考	届け出期間
移転前の 旧住所の役所	■住民異動届け 住民転出届け	原則として 本人	<ul style="list-style-type: none"> ・役所にある所定の届け出用紙 ・届け人の印鑑 ・国民健康保険証 (加入している人のみ) ただし、移転先が同市区町の場合を除く 	転出証明書が発行されます。	転出日までに
	■印鑑登録廃止届け	原則として 本人 (代理人の場合は 委任状が必要)	<ul style="list-style-type: none"> ・実印を持参 ・所定届け用紙 「印鑑登録廃止届け書」 	新住所で新規に登録しますが、前の印鑑証明書があれば新規登録に保証人のいらない場合があります。	なるべく早く
	■国民年金の 住所変更	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・国民年金手帳 ・印鑑 ・転出証明書 	住所は変わっても手帳は変わりません。新住所で手帳の住所変更をしてください。	なるべく早く
	■国民健康保険 資格喪失手続き	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険証 ・印鑑 ・転出証明書 	新住所で新たに資格取得の手続きを行いますが、転出日にさかのぼって取得手続きができます。	なるべく早く
	■福祉関係 乳児医療・児童手当 老人医療老齢年金	本人又は親	<ul style="list-style-type: none"> ・印鑑 ・転出証明書 	新住所で資格取得の手続きが必要です。	なるべく早く
転入学先の 学校長	■転校届け	本人又は親	<ul style="list-style-type: none"> ・現在通学中の学校長の成績証明書、在学証明書 ・転入先の市区町村の住民票(住民登録をすると発行されます) ・転入先の教育委員会の承諾書 	高校の場合はすぐ転校できない場合があります。 担任の教師と相談してください。	日祝祭日を除く いつでも
所轄の警察署	■運転免許証の 住所変更	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・住民票(同一管内の場合) ・写真(他府県より転入の場合) ・免許証 		なるべく早く (更新まで1ヶ月を切る) (場合は更新時で可)
現住所の 管轄郵便局	■郵便物の転送	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便局所定の転居届け 	一年間は転送してくれます。	日祝祭日を除く いつでも
最寄りの電話局	■電話の移転届け	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・電話局所定の移転届け 		転出7日前まで (日祝祭日除く)
最寄りの営業所	■水道・ガス・電気 料金の精算	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・電話で連絡する 		転出の前日 までに
所轄の 陸運事務所	■自動車の登録変更	原則として 本人 (代理人の場合は 委任状が必要)	<ul style="list-style-type: none"> ・車庫証明(自動車保管場所証明書) ・自動車検査証 ・新住民票 ・実印・印鑑証明書 ・自動車 		転居後 15日以内に
新住所の役所	■住民転入届け	原則として 本人	<ul style="list-style-type: none"> ・役所にある所定届け用紙 ・届け人の印鑑 ・国民年金手帳 ・国民健康保険 ・母子健康手帳 ・加入者のみ (就学前の子どもがいる場合) ・転出証明書 		転居後 15日以内に

お引っ越し時のご注意

荷物搬入の際のご注意

手摺の注意	衝撃に弱いバルコニーや廊下・階段のアルミ製の手摺や庇には注意が必要です。搬入の際はできるだけ手摺などにぶつからないように、家具などは中身を抜いて軽くしてから運ぶとよいでしょう。
住居の保護	搬入する際は、家具などの荷物と同様に住居内の廊下や柱、敷居、バルコニー、建物内の廊下や階段などにも、毛布や段ボールなどで保護カバーをしましょう。荷物がぶつかっても住居に傷をつける心配もありませんし、家具も安心です。特に荷物をぶつけやすい住宅内のコーナー部分は、段ボールやベニヤ板で確実に保護しましょう。
窓からの搬入	大型家具など玄関から入らない場合は、窓から入れましょう。引違い窓（障子）は外れ止めを外すと手で外せますから、窓から搬入できます。 (外し方はP21参照) ※搬入が終わり、障子を戻した時は必ず外れ止めをしておいてください。

家具配置時のご注意

●ピアノなど一ヵ所に集中して重量がかかるものの設置については、管理会社にご相談ください。 ※ものにより設置できない場合があります。	●お引っ越しの際、家具などのレイアウトを予めキチンと決めておかないと、カーペットを敷き直したり、重い家具の移動を繰り返したりなど、作業のロスが大きくなります。
●窓枠や手摺、バルコニーを傷つけないようにしましょう。	●出入口は広く開け、家具で通路を遮らないようにしましょう。緊急時や避難時に危険です。

持ち込み器具・家具

賃貸住宅によっては持ち込みを禁止していたり、設置場所が指定されている電気製品や家具などがあります。ご入居の際には、それらに該当するものがないか、前もってチェックしておいてください。詳しいことは管理会社にお尋ねください。

設置場所が指定されているもの	●エアコン ●小型瞬間湯沸かし器・FF式暖房設備など
重量制限に気をつけるもの	●ピアノ・ウォーターベッド・トレーニングマシン・大型水槽 (詳しいことは管理会社にお尋ねください。) ●本棚（一部屋にいくつも本棚を置かないようにしてください。） ●照明器具（天井設置の器具は、5kg以下としてください。）
その他	ガス器具は安全のため、公的検査機関（（財）日本ガス機器検査協会など）の検査合格証が貼付されたものをご使用ください。

ご入居後のご注意

名義人の変更	<ul style="list-style-type: none"> 契約上の名義人を変更する際は、名義変更の手続きを管理会社へ申し出てください。 この場合、名義人と同居していることが名義継承者の必要条件となります。 契約名義人様が死亡した場合や離婚した場合で、同居のご親族が引き続きご入居される場合は管理会社に申し出てください。
家族や保証人の 転居・死亡	<ul style="list-style-type: none"> 家族に転居・死亡などがあった場合は管理会社へ届け出てください。 保証人が転居・死亡したり、やむをえない事情で変更の必要が生じた場合は管理会社へ届け出てください。(この場合は管理会社の承諾する保証人をたててください。)
長期不在	<ul style="list-style-type: none"> 長期にわたって不在にする際には、管理会社の規定に従い届け出てください。 留守番を置く場合も同様です。
模様替え	<ul style="list-style-type: none"> 部屋の模様替えには、管理会社への届け出が必要です。 壁・床・天井の張り替え、襖・ドアを取り替える際には管理会社へ連絡してください。 クギやビスは打たないようにしてください。 模様替えした箇所は、ご退居時に原状回復していただきます。
内装保護のために	<ul style="list-style-type: none"> 天井を破損するおそれがあるため、家具の倒れ止めを使用しないでください。 ※地震対策などのため使用を希望される場合は管理会社の許可を必要とします。ご確認ください。 万が一破損などがあればご退居時には原状回復していただく場合があります。 天井、壁、床にピンや釘などで穴をあけないでください。
鍵の保管について	<ul style="list-style-type: none"> 鍵の取り扱いには細心の注意をはらってください。もし鍵を紛失した場合は必ず管理会社へ連絡してください。防犯上、原則として鍵を紛失した場合は、鍵と錠も取り替えるようにしましょう。その場合、費用は、ご入居者負担になります。なお、鍵や錠を取り替える場合は、必ず管理会社へ連絡してください。ホームセキュリティシステムを導入している場合、契約している警備会社にスペアキーを預けることになります。予めご了承ください。
排水設備について	<ul style="list-style-type: none"> 排水設備には、排水管や下水本管からのガス、臭気などや虫、小動物の侵入を防ぐ為にトラップが設けられています。このトラップ内の溜り水を「封水」といい、排水設備を長期間使用しないと、蒸発し無くなる場合があります。室内に臭気や虫が侵入することもあります。トラップ内の「封水」が無くならないよう、水を補充してください。 主な排水設備：浴室排水、便器、流し台、洗面器、洗濯機用排水トラップ及び防水パン。
訪問セールス等のご注意	<ul style="list-style-type: none"> 管理会社やダイワハウスでは、消火器や家電製品、家具などの訪問販売は一切いたしておりません。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場契約など当初の契約内容に変更がある場合は管理会社に届け出てください。 その他賃貸契約行為の継続にあたって必要と判断される場合は管理会社に届け出てください。 修理の要望については管理会社へ連絡してください。 ※修理費などの負担条件は契約書の内容にしたがってください。 洗濯物干しなど、バルコニーに出る際、子どもによる縛め出しにご注意ください。

ご退居時のご注意

管理会社への届け出	<ul style="list-style-type: none">●退居される際は、最低1ヶ月前に管理会社へ連絡してください。●決められた日までに、家賃や保証金などの精算を行ってください。(部屋は、ご入居時の状態に戻すことが原則です。)●鍵は管理会社に確認してください。
電話・郵便	<ul style="list-style-type: none">●移転先でも使用する電話がある場合は、電話局での移転手続きが必要です。●郵便局に移転届けを出せば、向こう1年間は郵便物を移転先へ転送してくれます。
引っ越し作業 (ゴミの処理について)	<ul style="list-style-type: none">●ゴミは、お引っ越しまでの間に処分しておき、当日は大きなゴミを出さないようにしましょう。●当日にゴミが出る場合は、手続きの上、市町村で引き取ってもらうようにします。●ご退居の際には、ゴミや不要なものを置きっぱなしにしないでください。
原状回復	<ul style="list-style-type: none">●ご退居の際には、貸室を原状回復して明け渡していただくのが原則です。 (通常使用損耗を除く)●管理会社の許可を得て、模様替えなどを行ったところはご退居日までにとの状態に戻してください。●著しい破損や汚れがあった場合は、管理会社とご入居者が立ち会いのもと、ご入居者負担分の修繕費用を算出しますので、精算してください。 ※詳細については契約書を確認してください。

ご退居手続きスケジュール

お引っ越しについてはいろいろな手続きがあります。スケジュールをお立てになるときの参考にしてください。

	手続きの種類	届け出し人	手続きに必要なもの	届け出先	届け出期間
ご退居の 1ヶ月前	■退居届け	原則として 本人	・印鑑 ・水道・ガス・電気の領収書	管理会社 (管理会社がない場合は家主)	退居1ヶ月前 までに
	■住民異動届け 住民転出届け	原則として 本人	・役所にある所定の届け出用紙 ・届け人の印鑑 ・国民健康保険証 (加入している人のみ) ただし、移転先が同市区町村の 場合は除く	現住所の役所	転出日までに (引っ越し前)
	■印鑑登録廃止届け	原則として 本人 (代理人の場合は 委任状が必要)	・実印を持参 ・所定届け用紙 「印鑑登録廃止届け書」	現住所の役所	なるべく早く
	■国民年金の 住所変更	本人	・国民年金手帳 ・印鑑 ・転出証明書	現住所の役所	なるべく早く
	■国民健康保険 (資格喪失手続き)	本人	・国民健康保険証 ・印鑑 ・転出証明書	現住所の役所	なるべく早く
ご退居の 6日前	■福祉関係 乳児医療・児童手当 老人医療・敬老年金	本人又は親	・印鑑 ・転出証明書	現住所の役所	なるべく早く
	■転校届け	本人又は親	・現在通学中の学校長の 成績証明書、在学証明書 ・転入先の市区町村の住民票 (住民登録をすると発行されます) ・転入先の教育委員会の承諾書	転入学先の学校長	日祝祭日を除く いつでも
	■郵便物の転送	本人	・郵便局所定の転居届け	現住所の管轄郵便局	日祝祭日を除く いつでも
ご退居の 5日前	■電話の移転届け	本人	・電話局所定の移転届け ・住居を間借りする場合、 電話移転するときは 「大家の同意書」	最寄りの電話局	転出7日前まで (日祝祭日除く)
	■水道・ガス・電気 料金の精算	本人	・電話で連絡する	最寄りの営業所	転出の前日 までに
当 日	■退居検査				お約束の時間に 家主または管理会社 がうかがいます
お引っ越し後	■住民転入届け	原則として 本人	・役所にある所定届け用紙 ・届け人の印鑑 ・国民年金手帳 ・国民健康保険 〔加入者のみ〕 ・母子健康手帳 (就学前の子どもがいる場合) ・転出証明書	新住所の役所	転居後 15日以内に
	■自動車の登録変更	原則として 本人 (代理人の場合は 委任状が必要)	・車庫証明(自動車保管場所証明書) ・自動車検査証 ・新住民票 ・実印・印鑑証明書 ・自動車	所轄の陸運事務所	転居後 15日以内に
	■運転免許証の住所変更	本人	・住民票(同一管内の場合) ・写真(他府県より転入の場合) ・免許証	所轄の警察署	なるべく早く (更新まで1ヵ月を切る) (場合は更新時で可)

住まいの健康な環境づくりのために

□ 十分な換気で空気をキレイに

住まいの中での空気汚染にご注意ください！

最近の建物には多くの新建材が使われており、これらの建材に含まれるホルムアルデヒドなどのVOC（揮発性有機化合物）が、室内の空気汚染の原因になると言われており、目がチカチカするなどのシックハウス症候群が多く見られるようになってきました。

また、気密性の高い今日の建物において、家具や衣類などにも含まれているさまざまな化学物質が、室内空気汚染拡大の原因となっています。

そのため、建築基準法では原則として平成15年7月1日以降着工のすべての建築物に機械換気設備の設置が義務づけられました。住宅の場合、0.5回／h以上の換気回数（1時間あたりに部屋の空気の半分が入れ替わる性能）の機械換気設備が必要とされています。

ダイワハウスでは、各部位、部品において低ホルムアルデヒドの部材に切り替えを進めるとともに、24時間換気システム（P.10参照）を導入し対応しています。

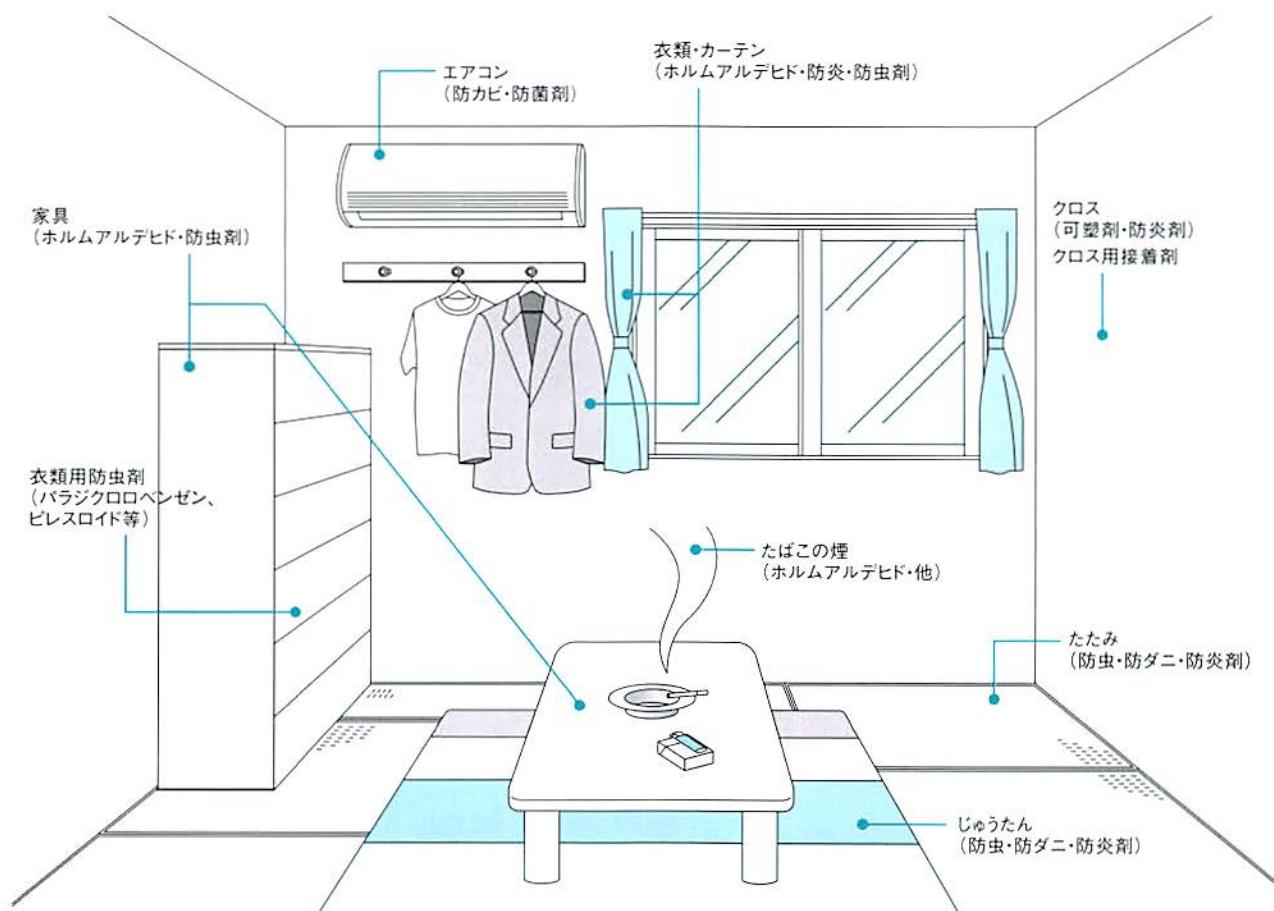
ご入居後すぐには、化学物質の未放散分等により体質や体調、気候などの関連で目の痛み、鼻の痛み、頭痛を感じことがあります。

そのため、24時間換気システム（複数ある場合はすべて）は通常使用においては、【切】としないでください。

（通常使用において、入浴時に換気による気流を感じて寒い時のために【一時停止】（60分間の一時停止）設定がありますので、こちらを使用してください。）

注意

住宅内で化学物質が含まれているおそれのあるもの



※上図は一般的な住宅から発生する化学物質を表しています。

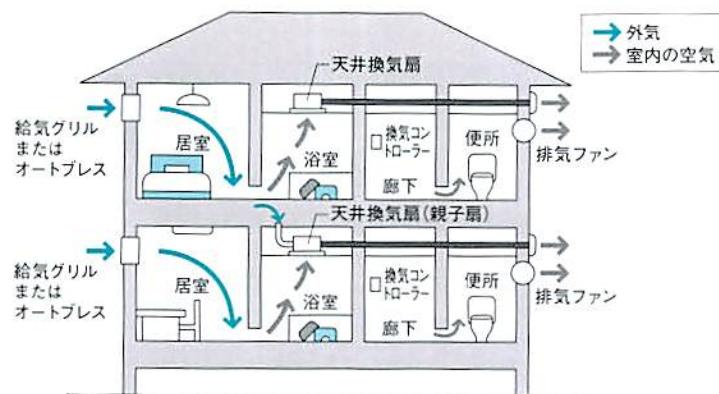
ダイワハウスでは、建材に含まれるホルムアルデヒドなどの化学物質の低減に努めています。

24時間換気システム

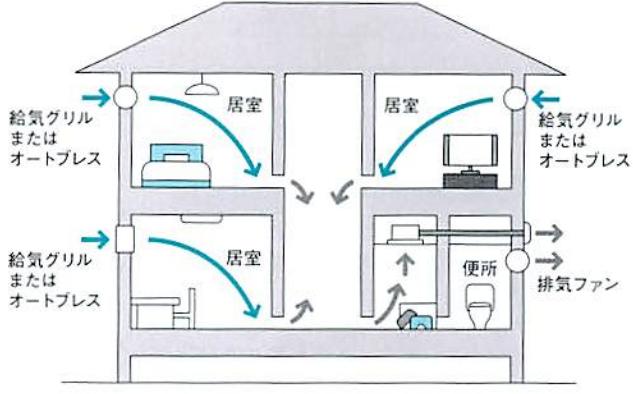
ダイワハウスの「風なびAP」は自然の力を最大限に利用する画期的な24時間換気システムです。建築基準法に求められる0.5回/h以上の換気回数をクリアしています。

2階建・3階建賃貸住宅「風なびAP」

※3階建の場合、1・2階が階間換気付、3階が階間換気なしのシステムとなります。



メゾネットタイプ賃貸住宅「風なびAP」



「風なびAPD」

浴室暖房・乾燥機能を兼ね備えた「24時間換気システム」

風なびAPの24時間換気に加え、浴室暖房・乾燥機能を兼ね備えた「風なびAPD」。

優れた暖房性能で、足元まですばやく暖房。入浴前にあらかじめ浴室を暖めておけば、冷え込みのきつい冬場でも、他の部屋との温度差がなくなり快適です。

換気コントローラー

一括スイッチで集中制御。
冬季の入浴時の寒さ対策として
一時停止ボタンが設定されています。
※写真は風なびAP用です。



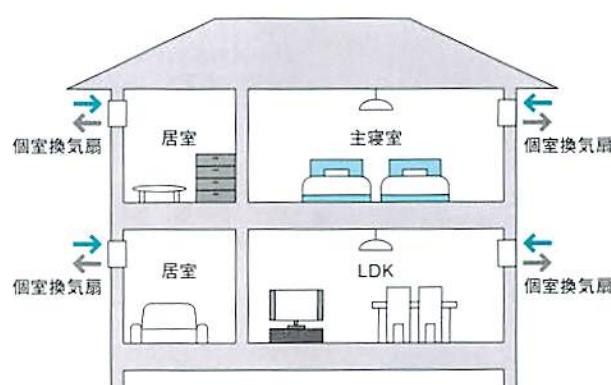
換気：このボタンを押すことにより、システムに含まれる全ての換気扇が動きます。(常時ON)

一時停止：入浴時に換気による気流を感じて寒いときは押すことにより60分間浴室の換気扇が停止します。(60分後、換気扇が自動的に復帰します)

全熱交換型個室換気扇 (寒冷地仕様)

寒冷地には冷暖房効率を高める全熱交換型個室換気扇をご用意しました。熱交換素子の遮音効果のため、室内の音を戸外へもらさず、また戸外の騒音もやわらげます。

ファン、グリル、換気扇のルーバー、フィルターは半年に1度お手入れしてください。
ルーバーの外し方、お手入れの方法は取扱説明書を参照してください。



快適な住まいへの気配り

油断大敵 結露とカビ

●結露とは

天井、壁、床の表面や窓ガラスなどに水蒸気がたまって「露(つゆ)」が生じることを「結露」といいます。これは、住環境を損なう原因になりやすいもので、建物を傷めるだけではなく、カビやダニの大量発生の原因にもなり健康を害するもどにもなりかねません。冬期の暖房器具だけでなく、夏期にエアコンの長時間利用をすることでも、建物内部に結露が発生することがあります。十分な換気を心がけることで結露を防ぐようにしてください。

エアコンの運転方法について

●冷房や除湿運転時はお部屋を冷やし過ぎないようにしてください

室内が低温・高湿になり以下の現象が発生する可能性があります。

- クロスの膨れ・剥がれ
- 家具や置物にカビが発生
- 天井や壁などに結露・カビが発生

●冷房時の設定温度について

冷房時の設定温度は25~28℃程度が目安です。

梅雨や夏時期にエアコンを運転しても室内がジメジメする場合は、除湿器をご使用ください。

●冷房時の風向について

壁や天井面にエアコンの風が直接当たっていると表面が冷やされて結露・カビが発生する可能性があります。風向を変える、もしくはスイング運転をご利用ください。

室内の留意事項

次の事項に注意し、結露やカビの発生しにくい環境をつくりましょう。

留意

●室内

室内で洗濯物を干す場合(室内物干使用時など)には、居室内の結露・カビの原因となる湿気を取り除くため、窓あけ換気、エアコン(ドライ)、除湿器を使用してください。

●浴室

●湿気が他の部屋に流れ込まないよう、ドアを開けたままにしないでください。

●入浴後、窓を開放したり、換気扇を回して十分に換気をしてください。

※カビの発生などでぬるぬるとした浴室は、すべりやすく危険です。

●台所

ガスコンロを使用している時は、必ず換気扇を回して、湿気や有害物質を排出してください。

●クローゼット・物入

収納物が詰まり、しめきった物入は、空気の循環が悪く湿気がこもりやすいので、結露が発生しやすい場所です。

●よく晴れて乾燥した日は建具を開放し、風通しをよくしてください。

●梅雨等、雨の多い時期は、扇風機などを使って強制換気をしてください。

●ふとんは就寝中、多くの湿気を吸っています。定期的に干すようにしましょう。

●家具の裏

壁に密着させて置くと通気が悪くなり、裏にカビが発生する事があります。壁から少し離して通気をよくしてください。

●窓

●窓を開けて通気をよくしてください。

●手動プレスを開けてください。(P20参照)

●断熱性に優れた厚手のカーテンを使用して、冬場の結露や窓際の冷気防止に役立ててください。

●暖房器具

開放型暖房器具(石油ストーブや強制排気でない石油・ガスファンヒーターなど)は、燃焼ガスを室内に排出します。燃焼ガスには二酸化炭素だけではなく、窒素酸化物(Nox)やホルムアルデヒドが含まれます。

また、通常室内の酸素濃度は21%程度ですが、長時間閉め切った状態で使用した場合、酸素濃度が低下し、19%以下になると不完全燃焼を起こします。

不完全燃焼が起こると一酸化炭素(CO)が発生し、CO濃度が5~10%で頭痛やめまいが起こり、10%を超えると一酸化炭素中毒を起こします。



危険

- 定期的に窓を開けるなど、換気を行ってください。
- エアコンのドライ運転や除湿器で湿気を取り除きます。
- 加湿器の使用は、極力さけてください。加湿器を使用する時は、湿しすぎないように注意してください。

※地域によっては、器具の使用に制約がある場合がありますので、契約書をご覧ください。

●玄関

●特に寒冷地では他の部屋より玄関空間の室温が下がり、玄関ドアやハンドルに生じた結露水が凍結し、鍵の破損やドアの閉閉に支障を生じことがあります。玄関空間に水蒸気がたまらないよう、通気を心がけ、生じた結露水をこまめに拭き取ってください。

※結露を予防するための室内換気が不十分であったり、24時間換気システムのスイッチを切っていたなど、ご入居者の過失により建物が傷んだとみなされる場合は、修繕費用を負担していただく場合があります。

□ 近隣への気配り

「音」 互いに気配りを…

賃貸住宅では、ドアの開閉音やトイレの排水音がある程度聞こえることは避けられませんが、音に関する苦情やトラブルが少なくありませんので、お互いに音への気配りを心がけましょう。

- (1) テレビ、ステレオなどの音量を大きくしすぎないように気を配ってください。特に夏は窓を開けるので、周りへ音がもれやすくなりますから、十分に注意しましょう。
- (2) 夜など周りが静かになった時には、ちょっとした物音でも階下の住宅に聞こえるものです。小さなお子様のいらっしゃるご家庭では、部屋にカーペットを敷くなどして消音対策をし、部屋の中を走ったりさせないよう注意してください。



階下への水もれ防止のため、床に水をこぼさないでください

浴室、洗面所などで水を出しちゃなしなすると、水があふれて階下へもれることがあります。水の出しちゃなしなには注意してください。



ご近所と仲良く暮らすポイント

共用施設の利用について

■廊下・階段

廊下や階段は、ご入居者みんなの共用施設です。自転車や荷物などを置いて、通行を妨げたり美観を損ねるようなことはやめましょう。もし、災害が発生した時には避難の妨げにもなります。



■駐車場・その他

住居に隣接した駐車場では、クラクションをむやみに鳴らしたり、早朝や深夜、長時間でのエンジンのカラカラ声は迷惑ですから絶対にやめましょう。また、路上駐車は絶対にしないでください。自動車・自転車・ベビーカーなどは必ず決められたところに置きましょう。



■ゴミの出し方

ゴミは、必ず収集日に指定された集積場所に出すなど、ご入居者各々が責任を持って処理するよう心がけてください。収集指定日以外には絶対に出さないようにしましょう。

また、ゴミの分別は燃えるゴミ・燃えないゴミ・粗大ゴミ、その他のゴミ等、自治体指定の分別方法を必ず守ってください。指定日以外にゴミを出すと、自治体によっては不法投棄と見なされる場合があります。どうしても指定日以外のゴミ出しが必要な時は、自治体に連絡して引き取ってもらいましょう。



■動物の飼養について

共同住宅で、犬や猫などの小動物を飼うことはご入居者同士のトラブルのもとになる場合があります。動物の飼養については契約書の内容に従うようにしてください。

※P56の「ペット飼養のご注意」をご参照ください。



1 玄関

1 玄関床の水洗いはしないでください



注意

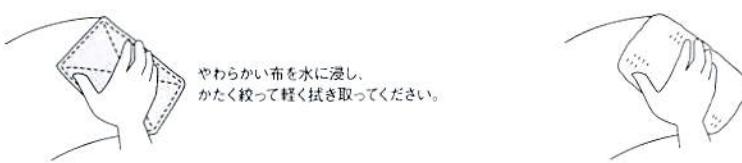
玄関の床や壁は、一般に防水加工が施されていませんので水洗いは絶対に避けてください。階下への水もれの原因になります。玄関の場合、軽くしぼった雑巾などで拭き掃除するのが適切です。

2 玄関ドアのお手入れ

きれいに快適に使うために、定期的にお手入れすることが大切です。お手入れしないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、しみや腐食の原因となってしまいます。汚れが軽いうちにお手入れしていただくことが最良の方法です。

お手入れの方法

清掃の目安は、少なくとも年に1~2回程度です。時に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすいのでさらにこまめにお手入れしてください。

汚れが軽い場合	 <p>やわらかい布を水に浸し、かたく絞って軽く拭き取ってください。</p> <p>やわらかい乾いた布で、十分に水分を拭き取ってください。</p>
水拭きで取れない場合	 <p>中性洗剤(1~2%水溶液)にやわらかい布を水に浸し、軽く拭き取ってください。</p> <p>やわらかい布を水に浸し、かたく絞って洗剤が残らないよう拭き取ってください。</p> <p>やわらかい乾いた布で、十分水分を拭き取ってください。</p> <p>①金属たわしや毛の硬いカメノコたわしなどは傷つきやすいので、絶対に使用しないでください。</p> <p>②シンナー、ベンジン、アセトンなど溶剤は使用しないでください。</p> <p>③塩素系薬品(漂白剤、カビ取り剤など)は絶対に使用しないでください。</p> 

シリンダー(鍵穴)の抜き差し・回転がスムーズでない、または重い時

キー(鍵)の側面へこみ部分に鉛筆(先端の黒芯)をすり付け、そのキー(鍵)をシリンダー(鍵穴)に挿入して数回抜き差し・回転を行ってください。また、一度でスムーズにならない場合は同じ方法を繰り返してください。その際、鉛筆の芯をシリンダー内(鍵穴内)に直接入れないでください。シリンダー内(鍵穴内)でひっかかり作動不良の原因となります。キー(鍵)の抜き差し回転がスムーズになりましたら、キー(鍵)に付着している黒い粉を乾いた布等で拭き取ってください。付着したまま使用されると、衣服を汚す場合があります。



鉛筆の芯をシリンダー内(鍵穴内)に直接入れないでください。
鉛筆(HB/B/2B程度)

シリンダー(鍵穴)の清掃について

鍵穴のゴミやホコリはパソコンキーボード用のエアダスター等を使用し、吐き出してください。

掃除機で吸い出す方法もあります。

シリンダー(鍵穴)には注油しないでください。

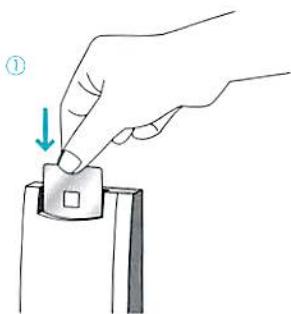
油がホコリを付着させ、動きを悪くします。

市販の潤滑剤スプレー(CRC)、マシン油等厳禁!

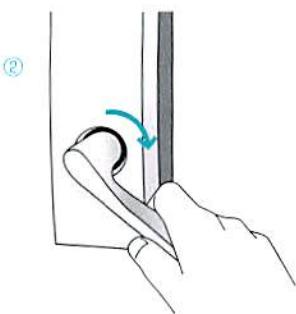


3 カードロックの使い方

- ①メインカードを「カチッ」と手応えがあるまで、しっかりと挿入し、引き抜いてください。



- ②レバーハンドルを下げ施解錠してください。



■カードロック使用上の注意事項

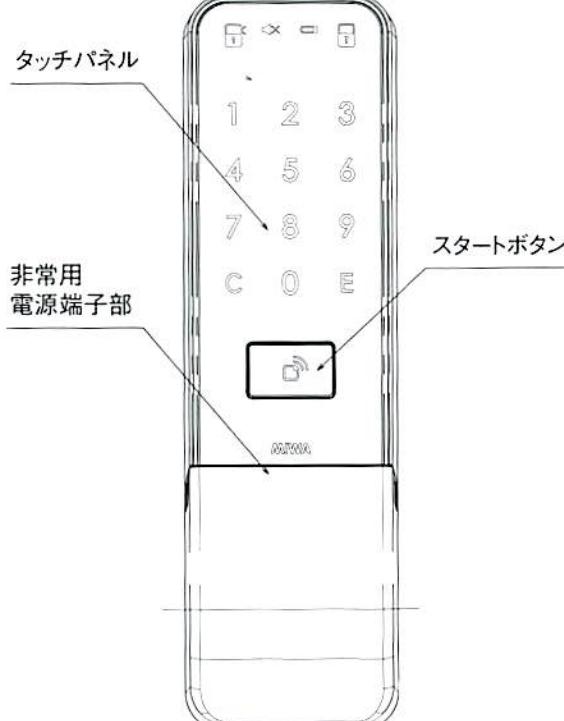
- カードキー以外のものをカードロックに差し込まないでください。故障の原因になります。
- カードキーを万一紛失された時は、すぐに管理会社にご連絡ください。
- 折れ曲がったカードキーをそのままご使用にならないでください。
- カードロックに防錆潤滑油等をスプレーしないでください。故障の原因になります。
- 施解錠できない場合は、メインカードが認証しているか確認してください。
- 操作が終わったら次の点を必ずご確認ください。
 - 1.カードキーを本体より、きちんと抜いていることを確認してください。
 - 2.施解錠の確認はレバーハンドルにて、必ず行ってください。



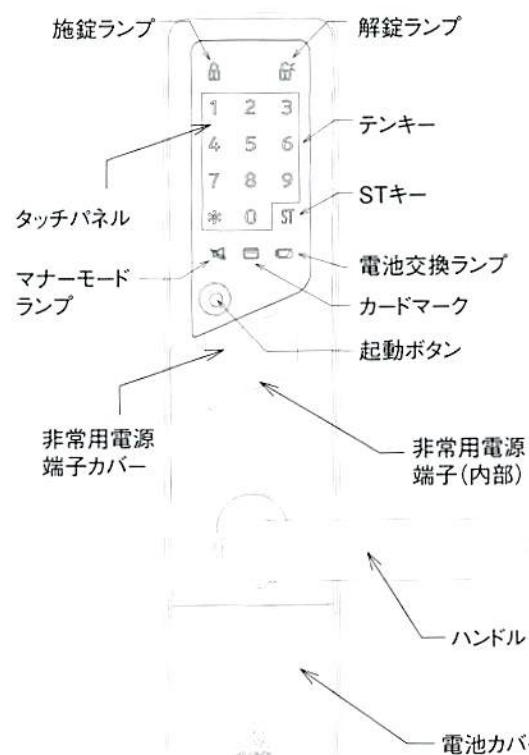
4 ICカードロックの使い方と電池交換について

- ICカードロックキーには2種類あります。

●Aタイプ



●Bタイプ



●一般操作

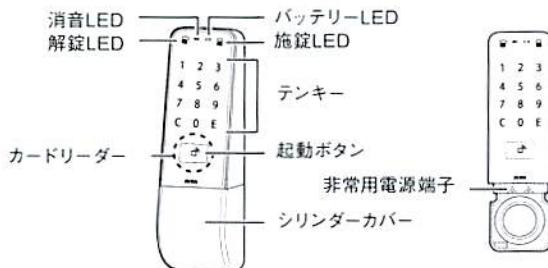
①室外からの操作

【カードによる操作】

- ①リーダー部の起動ボタンを1回押します。
 - ②施錠（解錠）LEDおよび「C」が点灯します。
 - ③カードをリーダー部（起動ボタン）にかざします。
 - ④「ピーッ」と鳴り、カードロックが解錠（施錠）します。
- （無効なカードの場合「ビビビッ」と鳴り解錠LED（赤）が点滅します）

【テンキー（暗証番号）による操作】

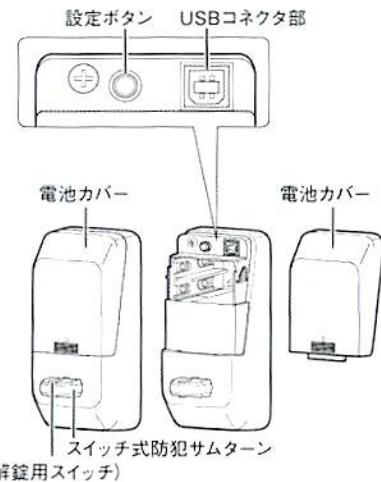
- ①リーダー部の起動ボタンを2回押します。
 - ②施錠（解錠）LEDおよび2~4桁のランダムな数字が点灯します。
 - ③表示された数字を全て押すとテンキーが表示されます。
 - ④「暗証番号」⇒「E」と押します。
 - ⑤「ピーッ」と鳴り、カードロックが解錠（施錠）します。
- （無効な暗証番号の場合「ビビビッ」と鳴り解錠LED（赤）が点滅します）
- ※暗証番号登録時は起動ボタンを1回押すだけで施錠します。（簡単施錠機能）
- ※暗証番号を5回連続で間違えると、3分~3分30秒間カード/テンキー操作を停止します。（いたずら防止機能）



②室内側からの操作

- ①室内側のサムターンを操作することにより解錠（施錠）します。

※解錠時は防犯サムターンの解錠用スイッチをつまみながら操作します。



●電池交換について

本製品には単3アルカリ電池 (LR6) ×4本または単3リチウム電池 (FR6) ×4本を使用してください。

●0°C以上で使用する場合：単3アルカリ電池 (LR6) ×4本

※アルカリ電池とリチウム電池の混在使用は不可

●0°C未満で使用する場合：単3リチウム電池 (FR6) ×4本（推奨電池：エナジャイザー社製LIT BAT AA同等品）

①電池が消耗してきたとき（電池切れ警告）

電池が消耗していくと起動ボタンを押した際、「ピーッ」と鳴り、バッテリーLED（赤）がゆっくりと点滅します。

この状態になりましたら、電池を交換してください。カードロックの操作はまだ可能ですが、間もなく電池切れとなります。

②さらに電池が消耗すると（電池切れ）

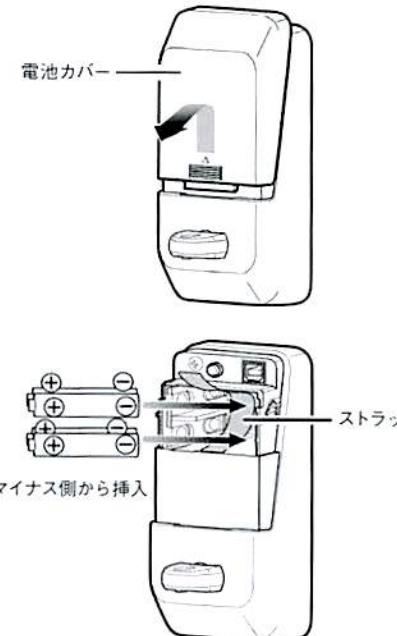
さらに電池が消耗すると、起動ボタンを押した際、「ピーッ」と鳴り、バッテリーLED（赤）が早く点滅します。

この状態になると、電池切れです。カードロックを操作することはできません。

（さらに消耗すると、起動ボタンを押しても無反応になります）

【電池の交換方法】

室内側にある電池カバーを外し、新しい単3電池4本と交換してください。プラスとマイナスの極性に注意し、マイナス側から電池を挿入します。



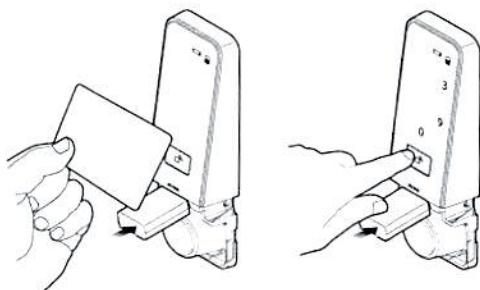
●電池切れ時の対処方法

電池切れで解錠できなくなった場合、室外側のシリンダーカバーを開け、角型アルカリ9V電池を非常用電源端子に押し当てます。

「ピーッ」と鳴り、LEDが全点灯した後、カード操作状態になります。起動ボタンを押すと、テンキー操作状態になります。

角型アルカリ9V電池を非常用電源端子に押し当てたまま、カード操作またはテンキー操作してください。

●電池切れの警告が出た場合は、速やかに電池の交換を行ってください。



Bタイプ

●一般操作

① D-ROOMカード(カードキー)で施錠／解錠する

①起動ボタンを押す(2回押す)

施錠している場合

ビロと鳴り、カードマークと施錠ランプ(青)が点灯します。

解錠している場合

ワンタッチ施錠し、ビーと鳴り施錠ランプ(青)が一定時間点灯します。

②D-ROOMカード(カードキー)をかざす

カードマークにD-ROOMカードをかざしてください。

施錠している場合

解錠し、ビピッと鳴り解錠ランプ(赤)が一定時間点灯します。

〈ポイント〉

●正しく読み取れないと、ビービービーと鳴り、解錠ランプ(赤)が点滅します。その場合は、再度①から操作してください。

●操作途中でタッチパネルの表示が消灯した場合は、再度①から操作してください。



②暗証番号で解錠する

①起動ボタンを押す

ビロと鳴り、テンキーと施錠ランプ(青)が点灯します。

②暗証番号を入力する

暗証番号を順番にタッチしてください。

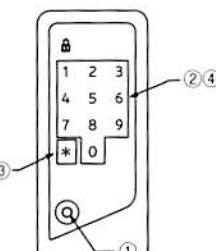
③*をタッチ

④ランダムに表示された4桁の数字を押す

〈ポイント〉

●暗証番号を間違えてしまうと、ビービービーと鳴り、解錠ランプ(赤)が点滅します。その場合は、再度①から操作してください。

●操作途中でタッチパネルの表示が消灯した場合は、再度①から操作してください。



③ワンタッチで施錠する

①起動ボタンを押す

ビロと鳴り、施錠します。

その後、ビーと鳴り施錠ランプ(青)が一定時間点灯します。



④室内側からの操作

①施錠(解錠)時、室内側のサムターンを操作することにより解錠(施錠)します。

②解錠状態でレバーハンドルを操作すると開扉できます。



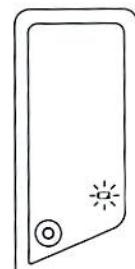
⑤いたずら警告機能

誤った操作を5回繰り返すと、いたずら警告状態になります。いたずら警告状態の時に起動ボタンを押すと、「ビーボービーボー・・・」と鳴り、操作ができません。

いたずら警告状態は音が鳴り終わってから30秒経過すると解除します。

〈誤った操作とは〉

- 登録されていない暗証番号の入力
- 登録されていないカードをかざす
- カードのかざし方が悪い
- カードが壊れている
(正しく認証できない)
- 起動ボタンを連続で押す
- 起動した後、操作せずに放置



⑥電池切れのお知らせ

電池が消耗すると、表示と音でお知らせします。新しい電池に交換すると、お知らせが消えます。

●電池が消耗すると、起動したときに電池交換ランプが点滅します。

●電池が消耗すると、施錠/解錠する前にビービービーと鳴ってお知らせします。

⑦電池交換

電池切れのお知らせ状態になったら、速やかに電池を交換してください。

①管理モードに切り替える

工事用カードキーまたは暗証番号で解錠してください。
解錠ランプ(赤)点灯中に起動ボタンを押し続けると
ビロと鳴り、テンキーとSTキーが点灯します。

②起動ボタンを長押しする

電池交換ランプが点滅するまで起動ボタンを押し続けてください。

③電池カバーをはずす

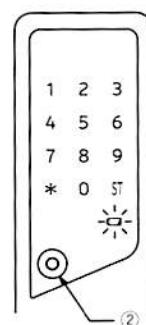
電池交換ランプが点滅してから10秒以内に電池カバーの底面にある
突起を軽く押し上げて、電池カバーを手前に引いてください。

④電池ケースをはずす

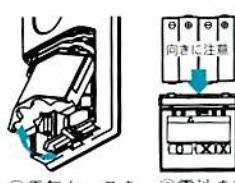
電池ケースの下側に指をかけて、手前に軽く引いてください。

⑤電池を交換する

電池ケースから古い電池を取り出し、新しい電池4本を入れてください。



③電池カバーを押し引きし、開ける



④電池ケースを引き、はずす
⑤電池を交換

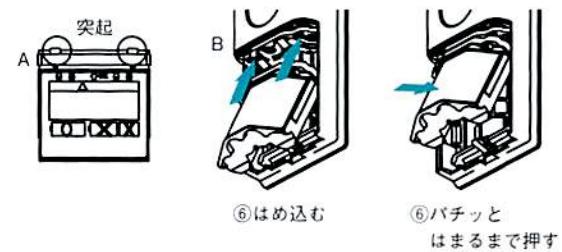
- 電池の+/-を逆にして入れないでください。
- 古い電池と新しい電池を混同して使わないでください。
- 複数の違う電池を混同して使わないでください。
- 電池は単3形アルカリ乾電池か単3形リチウム乾電池をご使用ください。



- ⑥電池ケースを取り付ける
電池ケース上部Aの突起を電池ケース上部Bの穴にはめ込み、電池ケースの下側を奥に押します。
正しくはまると、全ての表示が一回点灯します。

〈ポイント〉

- ケース上部のゴムがしっかりとはまっていることを確認してください。

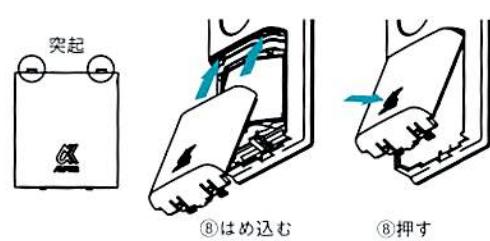


- ⑦動作確認をする
電池カバーを取り付ける前に、起動ボタンを押して正常に動作することを確認してください。

- 必ず電池カバーを取り付ける前に動作確認をしてください。
●電池の向きを間違えて入れてしまった場合、電池カバーがはずれなくなることがあります。



- ⑧電池カバーを取り付ける
電池カバーの上側にある突起を本体に差し込んで、電池カバーの下側を押してください。
⑨取り付け状態を確認する
電池カバーを軽く動かし、しっかりとはまっているか確認してください。



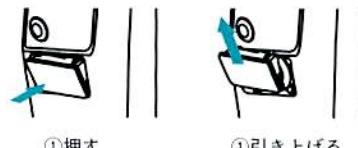
⑧非常用電源端子を使用して解錠する【入居者の作業】

完全に電池を消耗してしまい、全く動作しない場合に、9V角電池を使用して解錠することができます。

- 9V角電池はアルカリ乾電池を使用してください。



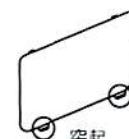
- ①非常用電源端子カバーを開ける
非常用電源端子カバーの左下部分を押してください。
非常用電源端子カバーの上部をつかみ、上側に引いてください。
※非常用電源端子カバーを強く引っ張らないでください。
非常用電源端子カバー裏のストラップが切れるおそれがあります。
②電池を押し当てる
9V角電池の端子を非常用電源端子に押し当ててください。
正しくあたると、全ての表示が一回点灯します。



〈ポイント〉

- 端子を押し当てる際の極性はありません。

- ③電池を押し当てたまま解錠する
9V角電池を押し当てたまま「取扱説明書(1)の3」に従って解錠してください。
④非常用電源端子カバーを閉める
非常用電源端子カバーの下側にある突起をボディの穴にはめ合わせて、カバー上部を押し込んでください。



5 ドアの開閉をスムーズにする

開閉スピードはドアクローザーで調整

ドアを閉じる速度が速すぎる時や、遅い時はドアクローザーの調整をします。ドアクローザーは速度調整弁を回して開閉速度を調整します。速度が速すぎて閉じる時に大きな音がすると、周囲への迷惑になりますので、適当な速度に調整してください。また、夏は冬に比べて閉鎖速度が速くなりますので、季節ごとの調整をおすすめします。

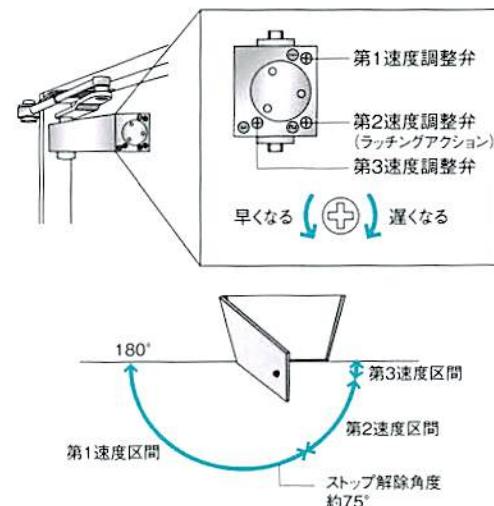
ドアクローザーによる開閉速度の調整

- 右図のように、調整弁を左に回せば扉スピードは速く、逆に右に回せば遅くなります。
- 一般的にドアの閉じ速度は、ストップが外れる角度（約75°）からドアが閉じきるまで4~6秒が適切です。
- 調整は、第1速度、第2速度の順に行います。
- 第2速度は第1速度よりやや遅く設定し、ストップが外れる角度（約75°）からドアが閉じきるまでを4~6秒になるように調整してください。
- ラッチが固くてドアが閉じきらない場合、第3速度（ラッキングアクション）を調整します。第3速度は、ドアが閉鎖位置手前約2~3°付近まできた時点で、ドアを素早く閉める機能です。第3速度調整弁を緩めてラッチが入り込むスピードに調整してください。あまり速くしすぎると、音がうるさくなったり、指を挟む可能性がありますので注意してください。

調整弁は必要以上に回したりしないでください。緩めすぎると
調整弁がはずれ油もれを起こし正常に機能しなくなります。
(45°~90°くらいを目安に調整してください)



注意

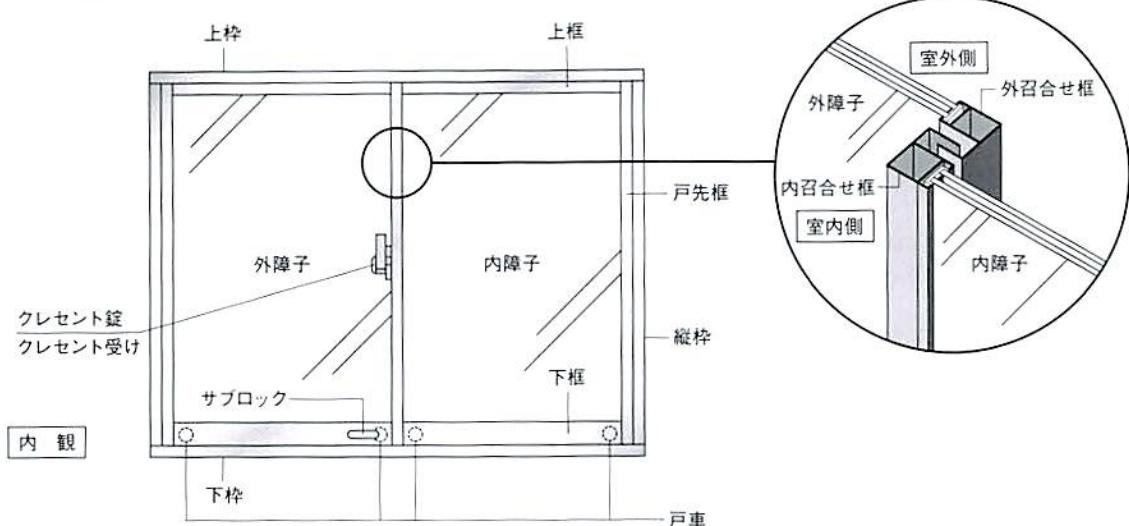


※メーカーによって調整の方法が異なります。

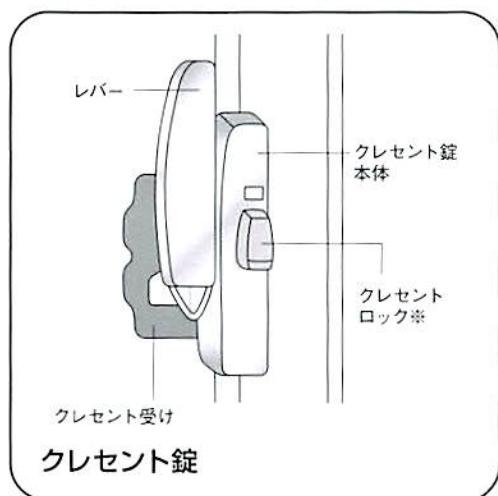
2|外部建具(引違い窓)

1 アルミサッシ(引違い窓)

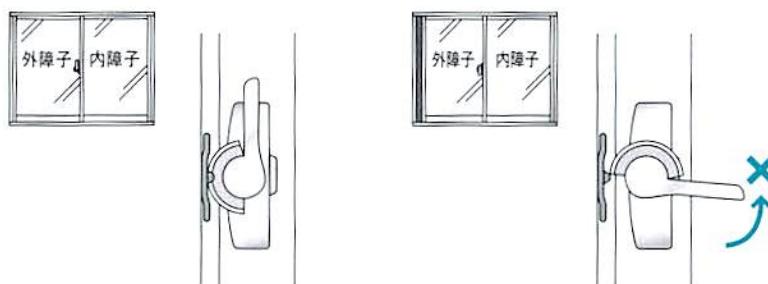
●引違い窓の名称



① クレセント錠



より防犯性を高めるため、クレセント錠は施錠が確実に行える「空掛け防止機構」を備えています。クレセント受けに掛からない場合は、レバーが回転しません。必要に応じてP21の手順でクレセント受けの調節をしてください。
※自動でクレセントロックが掛かります。開錠時はクレセントロックを解除してからレバーを操作してください。



② サブロック

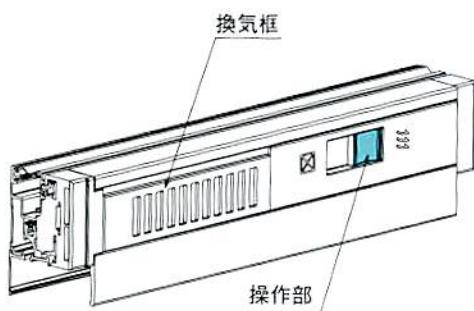


障子の下枠には防犯を目的としたサブロックがついています。外出される時や夜間には必ずセットするようにしてください。サブロックを押すと図のようにロック機構が起き上がります。ロックを解除する時は起き上がっている部分を押してください。

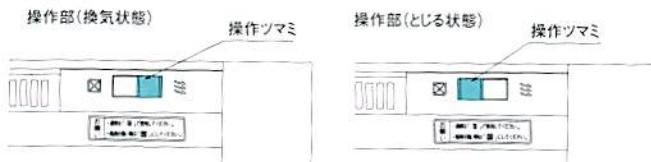
外出する時や夜間にはもちろんのこと、平素からセットするよう習慣づけてください。

リビングルームなどの引違い窓は、もっともねらわれやすい開口部です。ロック機構付きのクレセントに加え、サッシ下部には指で押すだけで簡単に施錠できるサブロックを標準装備していますので、必ずご使用ください。

③手動プレスの使い方



- 換気框は「第3種換気設備」の給気口です。
- 手動にて換気「送」ととじる「送」の状態を選択できます。
※通常は換気「送」の状態でご使用ください。
- ※風雨の強い時はとじる「送」の状態にしてください。
とじるの状態では、サッシ同等の水密性能を発揮いたします。



＜とじる場合＞

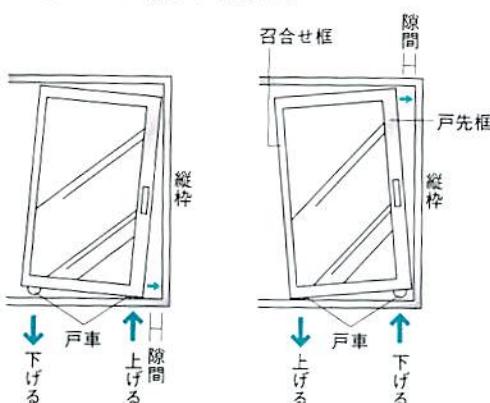
操作ツマミを一度押してロックを解除させ、そのままツマミを左側に移動します。ツマミが手前に浮き上がるとロックがかかった状態となります。

＜換気する場合＞

操作ツマミを一度押してロックを解除させ、そのままツマミを右側に移動します。ツマミが手前に浮き上がるとロックがかかった状態となります。

④サッシの調整

●障子の建付け調整



障子の建付けが悪い場合（左図）、戸先框、召合せ框下部にある戸車の上下調整で建付け調整ができます。

戸先框、召合せ框の戸車調節孔（框の最下部）より④ドライバーを差し込み、調整ネジを回し、障子を上下します。

●右回転（時計方向）………障子が上がる

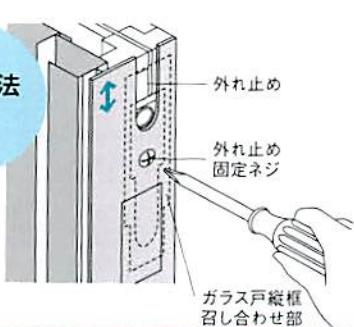
●左回転（反時計方向）………障子が下がる



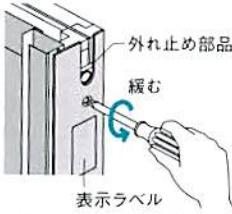
●障子の外れ止めの調整

障子の外れ止めの調整はサッシ貼付の表示ラベルを参照の上、ネジを緩め外れ止めを押し上げ再びネジを締めてください。

調整方法 A



(1) 障子外れ止めネジを緩めます。



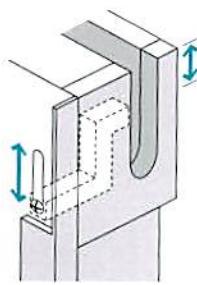
(2) 外れ止め固定ネジを開閉に支障のない範囲で上に上げてください。



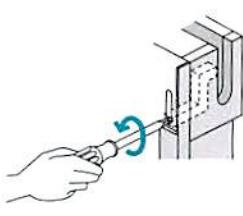
(3) 調整完了後(1)で緩めたネジをしっかりと締めてください。



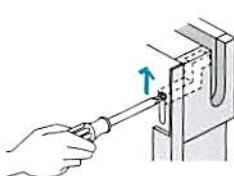
調整方法 B



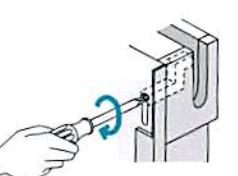
(1) 障子外れ止め固定ネジを緩めます。



(2) 外れ止め固定ネジを開閉に支障のない範囲で上に上げてください。



(3) 調整完了後(1)で緩めたネジをしっかりと締めてください。



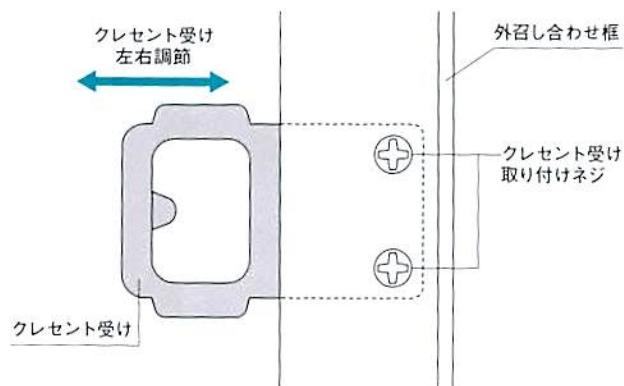
外れ止めは、障子に加重されても外れないように危険防止を目的としたものですので、普段は必ずセットしておいてください。



警告

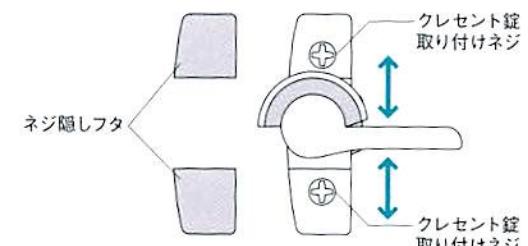
● クレセント受けの調整

- (1) クレセント受け取り付けネジを緩めて左右に移動してください。
- (2) 調整後、取り付けネジをしっかりと締めてください。



● クレセント錠本体の調整

- (1) 障子を閉めた状態で作業してください。
- (2) クレセントを中間位置まで回します。
- (3) クレセントの上下にフタの溝があります。
溝に爪をかけ、持ち上げてフタを取り外してください。
取り外したフタをなくさないようにしてください。
- (4) クレセント錠取り付けネジを緩めます。
- (5) 上下にクレセントをスライドさせて調整を行います。
- (6) 調整後、取り付けネジをしっかりと締めます。
- (7) フタを押し込んで調整完了です。



■ 気密性の高いサッシを使用しても、建て付け不良やクレセント錠調整不良等があると気密性能や遮音性能が低下するので注意してください。

障子は重く、倒れると危険ですので、2人で外すようにしてください。

重量の目安

- 2Pサイズ テラス窓:1枚当たり 16~20kg(30~40kg)
- 2Pサイズ 腰高窓:1枚当たり 8~11kg(15~21kg)

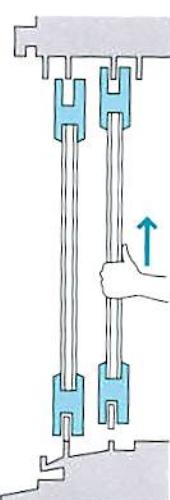
()内は複層ガラスの時の目安です。



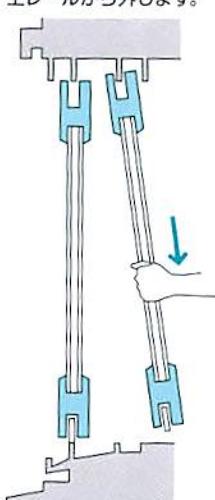
● 障子の外し方

内枠を外側より吊り込む場合は内障子、外障子の順に吊り込めますが、障子は内側からも吊り込むことが可能です。
内側より外す場合は以下の要領で行ってください。

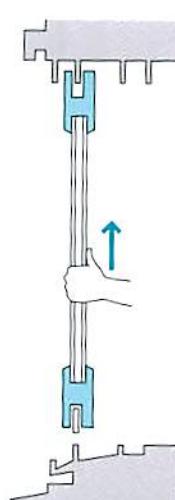
- (1) 持ち上げて下枠レールから浮かします。



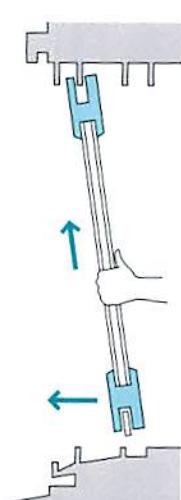
- (2) 下枠からはずし、内障子の上端を上レールから外します。



- (3) 持ち上げて下枠レールより浮かします。



- (4) 外障子の上端を上レールから外します。



*内枠を吊り込む場合は、この逆の手順で行ってください。

2 網戸(引違い窓)

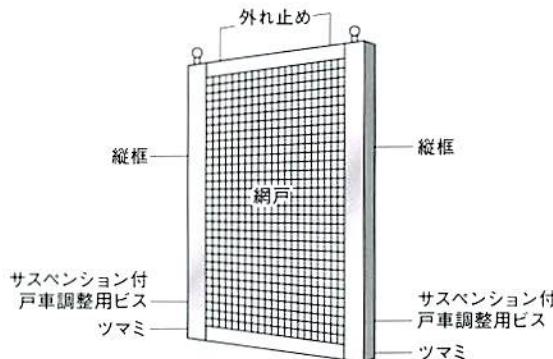
① 建て付け調整

網戸が枠にきっちり当たらず上下で隙間ができる場合は、建て付け調整を行います。

隙間は戸車を調整してなくします。

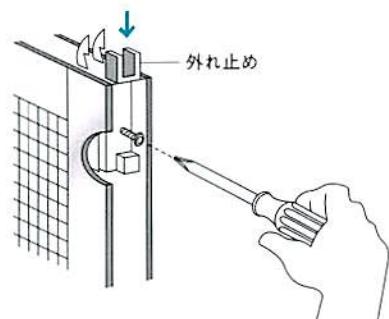
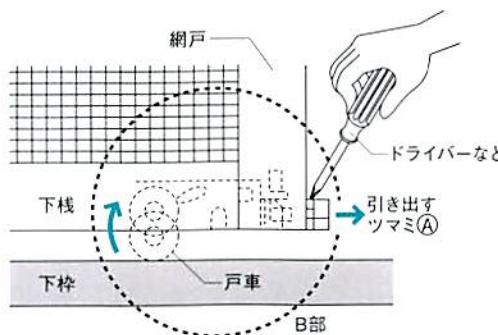
- (1) 戸車調整ビス穴へ⊕ドライバーを差し込みます。
- (2) ビスを時計方向に回すと網戸が上がり、反時計方向に回すと下がります。

網戸の外れ止めは落下防止のため、普段は必ずセットしておいてください。



② 外し方の手順

- (1) 網戸の両側の縦框上部に外れ止めがあります。ネジを緩めて外れ止めを下方にずらしてください。
- (2) 網戸縦框下部に付いている左右の戸車のツマミ A を、右図のようにドライバーなどで引き出してください。



※ツマミ Aを「カチッ」と音がするまで引き出してください。最後まで引き出さず、外そうとすると、網戸がこわれるおそれがあります。

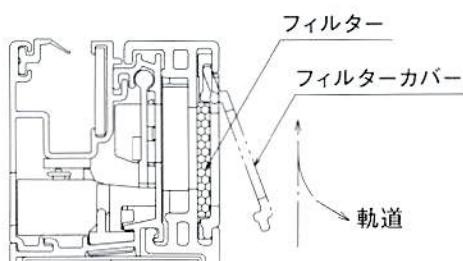
※メーカーにより一部仕様が異なる場合があります。
※緩めた外れ止めは必ず元に戻してください。

3 お手入れ

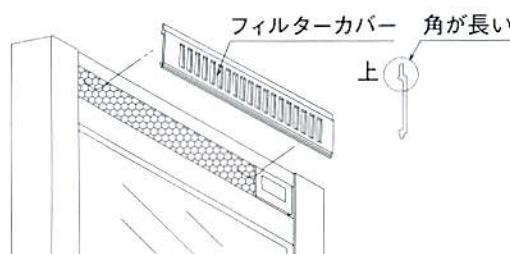
● サッシのお手入れ

大気中にさまざまな汚れの元が浮遊しており、それが湿気や雨水の影響を受けて、時にはアルミサッシの表面にサビをつくることがあります。定期的に水洗いや中性洗剤でアルミサッシに付着した汚れを落としてください。この時クレンザーやたたみのように、表面を傷つけるものは使用しないでください。細かなキズがつき、さらにサビが出やすくなります。

● 施工手順

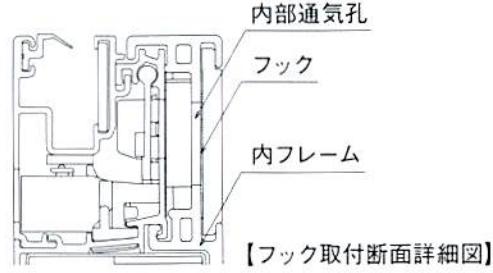
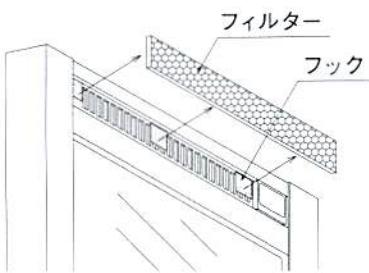


- (1) 始めに図中の軌道でフィルターカバーから溝を外します。



- (2) フィルターカバーをオートプレスの溝部から手前に外してください。

注意: フィルターカバーの角の形状を確認願います。



【フック取付断面詳細図】

(3) 図中矢印のフックからフィルターを剥がしてください。
強く引っ張るとフィルターの繊維がほつれたり、破れたりしますので注意してください。

(4) フィルターカバーを剥がすと、内フレームに「フック」が付いておりますので、ご確認願います。

●フィルターのお手入れ方法

◆お手入れ時間

フィルターは換気性能を維持する為に目安として「6ヶ月毎」のお掃除をおすすめします。

◆お手入れ方法

取り外したフィルターの汚れが少量のチリ・ホコリの場合は、軽く手でたたいて落としてください。

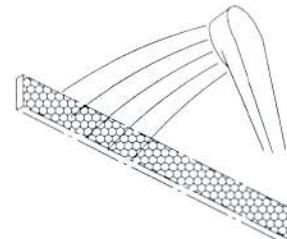
又、汚れがひどい場合はフィルターを水かめるま湯に浸けて軽く押し洗いするかシャワーなどで洗い流してください。

汚れが油性の場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯の使用をお薦めします。

洗浄後は、自然乾燥（陰干し）をしてください。

◆フィルターの寿命

5回程度洗ったフィルターは、新品への交換をお薦めします。



●網戸のお手入れ

ブラシやはたきをかけたり、掃除機を使ってこまめに掃除しましょう。裏側に古いタオルをあて、表側からブラシをかけるとタオルに汚れが移り効果的です。さらに汚れがひどい時には、網戸を外して、薄めた中性洗剤を使いブラシで落とします。水をかけて洗い流した後、乾いた布で拭いて、陰干します。

■アルミサッシ 障子・網戸 使用上の注意事項



警告

- 障子は引っ越す時の搬入の際など、どうしても必要な場合以外は、外さないでください。
- 障子は外れ止めを付け忘れないよう注意してください。落下するおそれがあります。
- 障子の取り外しの際、サッシュ枠やフランジ、エアコン室外機設置台に登らないでください。転落の危険があります。
- 障子や網戸を外す時、落とすと危険なため窓の下に人がいないことを確認して行ってください。
- 網戸の外れ止めは必ず

■トップライト 使用上の注意事項



警告

- 電動開閉時には体の一部や物が挟まれないよう、天窓の稼働範囲内に人がいないことを十分に確認してから行ってください。
- 降雨の際に吹き込みセンサーが作動して窓が自動的に閉じます。また、同センサーは、指が触れただけでも窓が閉じ始めます。動作中に体の一部や物が挟まれないよう十分ご注意ください。
- 天窓から顔や手を出さないでください。また、窓枠に物を掛けたり、ぶらさがらないでください。
- 落下や故障の原因になるので、天窓に乗ったり出入り口と

■ガラスの熱割れ 現象について

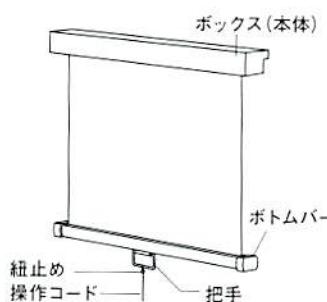


注意

- 窓にはめ込まれたガラスが日射により部分的に高温となり、割れることを「熱割れ」と呼んでいます。この熱割れの防止の為に、以下のようごとに注意してください。
- カーテンやブラインド、大きな棚などの遮蔽物をガラスに密着させるように設置しないでください。ガラスの熱が放熱されにくくなり、熱割れがおきことがあります。
- 暖房器具や照明器具をガラスに密着させたり、エアコンやファンヒーターなどの吹き出しがガラスに直接当たらないようにしてください。ガラスが部分的に熱せられ、熱割れがおきことがあります。
- ガラス面に紙や熱線反射フィルムを張ったり、ペンキを塗ったりしないでください。その部分に熱がたまりやすくなり、熱割れがおきことがあります。

4 遮熱スクリーン

●操作方法



ボックス(本体)のボトムバーの把手や、操作コードを持ち引っ張りながら下ろします。

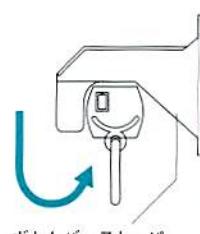
下ろしたボトムバーをボトムバースッパーに固定してください。

操作コードと紐止めは、紐止めのボタンを押しながら下方へずらして把手から外すことができます。

- スクリーンを下ろす際には、引き切り(オーバーラン)状態にならないよう注意してください。
- 強風時や積雪時には、スクリーンを収納して使用しないでください。



注意

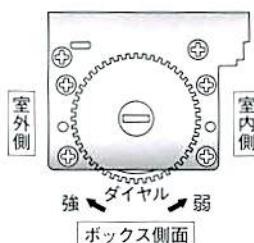


ボトムバースッパー

<ボトムバーの固定>

ボトムバーをボトムバースッパーに取り付ける場合は、ボトムバーを持ち外側から回すようにしてアーム部に引っ掛けしてください。

●巻き取り調整方法



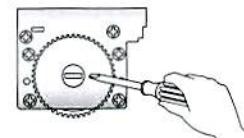
スクリーンの巻き取りの調整が必要な場合は、以下の要領で調整を行ってください。スクリーンの巻き取り調整は、ボックス(本体)部のダイヤルを回すことで行います。

巻き取りを強くする場合…室内側から室外側へダイヤルを回してください。
巻き取りを弱くする場合…室外側から室内側へダイヤルを回してください。

- あまり強く巻き過ぎますと、故障の原因になります。
確認しながら作業を行ってください。



注意



ボックス(本体)の側面より巻き取り調整をする場合は、側面中央部のマイナス溝にドライバーを差し込み、同じ要領で調整してください。

■遮熱スクリーン使用上の注意事項

- 開閉する際は、周囲に人がいないことを確認してください。
- ボックスやボトムバーにぶらさがったり、もたれたりしないでください。
- 無理な開閉や乱暴な取り扱いをすると、スクリーンを破損する恐れがありますので、開閉はゆっくり行ってください。
- スクリーンを下げて使用する場合は、ボトムバーを2か所のボトムバースッパーに掛けてください。
- スクリーンを上げる際、ボトムバーが勢いよく上がりすぎる場合、または途中で止まってしまう場合は、ボックス端部のダイヤルで調整してください。
- 強風時には使用しないでください。
- スクリーンには火気を近づけないでください。
- 犬や猫などのペットが、爪でスクリーンを引っ掛けないようにご注意ください。
- 開閉する際は把手またはボトムバー中央を持って操作してください。
- 開閉操作はボトムバーが水平の状態で行ってください。
傾いた状態で開閉しますと、スクリーンに巻ズレが生じます。
- 夜間や外出される時は、スクリーンを収納してください。
- 雨の時は、スクリーンを収納してください。汚れやシミの原因になります。



注意



3 キッチン

1 キッチンのお手入れ

ステンレスでも錆びることがあるので、普段のお掃除が必要です

ステンレスでもサビがあるので、特にガスコンロの下は清潔にするように心がけてください。ステンレスの流しはクレンザーなどで磨きますと細かなキズがつきますので、必ず中性洗剤をご使用ください。

①普段のお手入れ

使用後、乾いた布で水気を拭き取ります。汚れが目立つ時は、台所用洗剤で汚れを落としてください。その後、水で洗い流し乾いた布でよく拭きます。特に、水切棚はサビが生じないよう、こまめに水気を拭き取ることをおすすめします。

②ステンレスの取り扱い上の注意事項

注意

- (1) 醤油や味噌など塩分の多い食材や、缶、錆びている包丁等の金属類をステンレスの上に放置しておくとサビが発生します。サビが発生した場合は、ソフトタイプのクレンザー少量をついたスポンジで磨き、サビを拭き取った後、十分水洗いします。
早い時期に除去すれば、きれいな表面状態に戻りますが、長時間そのままにしておくと、サビがひどくなりますからご注意ください。
- (2) ステンレスは、塩素イオン系の洗剤が苦手です。薄めた液で洗い流す程度なら心配ありませんが、原液を流したり、シンクをふきんや食器の漂白に使用するとサビが発生することがあります。また、次亜塩酸ソーダを使うような漂白もステンレスの流しではしないでください。

③人工大理石の取り扱い上の注意事項

注意

- たわし・クレンザーなどでこりますと、キズになりますので避けてください。
- 人工大理石ワークトップのお手入れの方法はステンレスと同じですが、絶対にクレンザー、アルコール、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。



④キッチンセット周辺のお手入れ

キッチン周辺のタイルまたは、キッチン前面パネルの壁（クロスでない部分）が汚れた場合は、次のようにお手入れしてください。

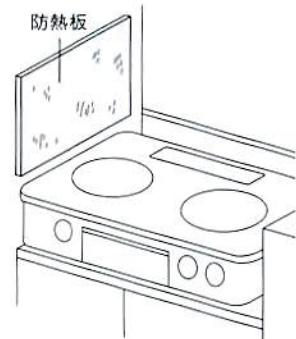
- (1) 水拭きで汚れが落ちない油汚れなどは、中性洗剤を用いて汚れを落としてください。
- (2) クレンザーやワイヤーブラシなどは表面の光沢が失われるおそれがありますので使用しないでください。

⑤防熱板のお手入れ

警告

警告

- (1) 防熱板の表面に油やホコリなどが多量にこびりついた時は、お早めに防熱板の表面を中性洗剤で拭き取ってください。そのままにしておくと引火の恐れがあり、危険です。
- (2) 中性洗剤以外の洗剤で拭くと、ステンレス表面が変色することがあります。
- (3) 金属繊維たわしなどで防熱板の表面を清掃するとキズがつきます。スポンジかやわらかい布をお使いください。
- (4) コンロご使用中およびご使用直後は、防熱板の表面が熱くなり火傷するおそれがありますので、素手で触れないでください。また、15分以上たってから、清掃してください。
- (5) 表面板と裏面板との間には手を入れないでください。指を傷つけることがあります。



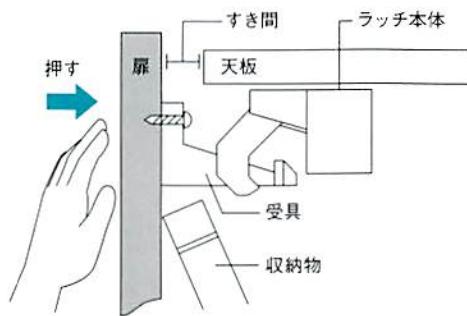
2 吊戸棚の扉フルラッチのしくみと解除の方法



注意

吊戸棚には、地震などで揺れを感じるとロック機構が作動して扉が開放されるのを防ぐ機構が標準装備されています。地震の揺れがおさまって静止状態になると自然にロックは解除されます。

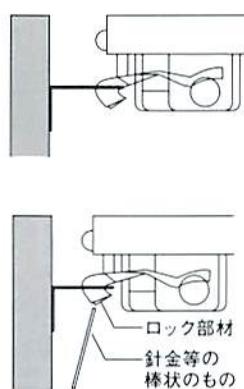
LIXIL タカラスタンダード 解除の方法



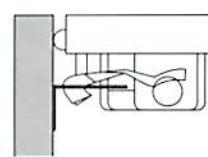
※各メーカーにより、各部の形状は異なります。

扉に収納物等が寄りかかっている場合、ロックがかかります。この場合でも、若干開いている扉を押すことにより、ロックを解除することができます。

クリナップ 解除の方法



〈ロック状態〉
キャビネットが揺れている状態では、内部のボールの動きにより、本体のロック部品が下がった状態を維持しているのでロック状態が解除されません。



〈ロック解除状態〉
揺れが止まり、内部のボールが止まると、ロック部品は自然と上がるるので、扉を閉めた状態にしておけばロックが解除されます。

キャビネットが傾いた状態で静止した場合は扉を10mmくらい開いた状態で、
①先を曲げた針金等を扉の上方の隙間より差込み、ラッチの爪を持ち上げる。
②薄い板を扉下方の隙間より差し込み、ラッチの爪を持ち上げる。
のいずれかの方法で解除を行ってください。中のものが飛び出してくるおそれもありますので十分に注意して行ってください。

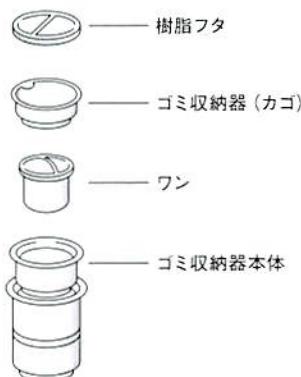
3 排水管が詰まった時

排水管はこまめにお手入れ

①排水トラップのお手入れ

ワン、ゴミ収納器本体の汚れと、カゴの目詰まりを取り除いた後、台所用洗剤でよく洗ってください。内側に付着した汚れは歯ブラシなどで磨きます。

(機種によって多少構造が異なる場合があります。)



②排水管詰まりの予防

- (1) カゴのゴミはこまめに取り除いてください。
- (2) 定期的にパイプ洗浄剤などで掃除してください。
- (3) てんぷら油など、油脂類は絶対に流さないでください。
排水管の内部に油が付着して排水管が細くなり、流れが悪くなるだけでなく、水質汚濁の原因となります。

★油類は絶対に排水管へ流さないでください。

- (4) 热湯禁止
60°C以上の熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形するおそれがあります。

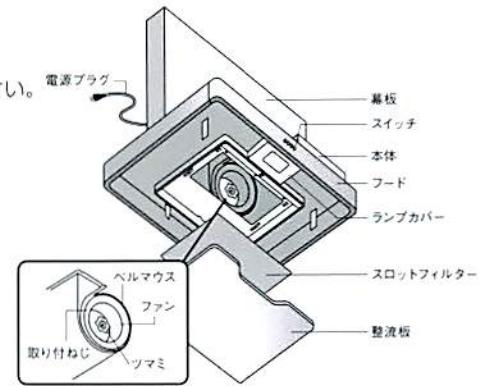
4 レンジフードファンの汚れがひどい時

レンジフードファンは、月に一度お手入れしましょう

台所のなかで最も汚れやすく、しかも掃除に手間のかかるレンジフードファン。

そのままにしておくと故障しやすく、また不潔です。油とホコリが付着して見た目に黒ずんできたら、外して掃除しましょう。レンジフードファンの周囲も汚れやすいので中性洗剤で汚れを拭き取ってください。

- お手入れの前に電源を切り、差し込みプラグをコンセントから抜く、もしくは分電盤のブレーカーを切ってください。
 - 整流板・スロットフィルターを、取扱説明書にしたがって外します。
 - 汚れがひどい場合には、ファンも同様に取り外します。
 - 取り外した部品は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で丸洗いします。
 - 水気をよく切り、分解した逆の順序で部品をしっかりと付けましょう。
- フィルターの上に市販の紙製のフィルターをつけますと、ファンに対する抵抗が大きくなり、吸い込みの能力が落ちます。また、ファンのモーターに負荷がかかりますので、故障の原因になります。ご使用はお控えください。



※タイプの異なるレンジフードについては、取扱説明書にてご確認ください。

レンジフードとフィルターは月に一度のお手入れが目安

フィルターは、住宅用洗剤を入れたお湯に30~40分つけ置きし、変形しないように注意しながら、たわしでこすり落とします。ただし、強アルカリの住宅用洗剤は絶対に使用しないでください。

フードは、汚れた部分に住宅用洗剤をスプレーしたキッチンペーパーやティッシュペーパーを貼り、10~15分後、お湯を含ませた布で十分に拭き取ります。どちらも月に一度は掃除してください。それ以上たつと油が酸化し、中性洗剤では汚れがなかなか取れなくなります。

■吊り戸棚には重いものを載せ過ぎないようにしてください

キッチンの吊り戸棚に重いものを載せ過ぎると、棚が落下してきて大変危険です。(棚板1枚につき15kgまでの積載に耐えられるよう設計されています。) また、重いものを1ヶ所に集中させると棚板がたわみますので分散して置いてください。日頃から重いものは下の収納スペースにしまうよう心がけましょう。水切棚の積載荷重は8kgです。



注意

■床下収納庫の蓋は必ず閉めておきましょう!

床下収納庫の蓋は、収納物の出し入れの時以外は閉めておいてください。転落するおそれがあります。



注意

5 加熱調理機器

ご使用の前には、必ず商品の「取扱説明書」をお読みのうえ、正しくお使いください。



●ガスコンロ

- コンロを覆うような鉄板や大きすぎる鍋、焼網、たこ焼き器、アルミ箔製汁受け等を使うと異常燃焼し、一酸化炭素中毒の原因となるばかりか、温度センサーが正しく作動せず、発火等の原因となりますので使用しないでください。
- 温度センサーをご使用時には、鍋底が密着していない鍋、土鍋、圧力鍋、耐熱ガラス容器などは使用しないでください。

ご使用の前には、必ず製品の「取扱説明書」をお読みのうえ、正しくお使いください。



注意

キッチン

●IHヒーター+ラジエントヒーター

心臓ベースメーカーをご使用の方は、専門医師とご相談のうえ、お使いください。

(1) 使用可能な鍋は下記の通りとなりますので、ご確認ください。

【IHヒーター】※口数や位置により、使える鍋が異なります。

○使える鍋

材質	■鉄・鉄鋳物	■鉄ホーロー	■有磁性ステンレス(18-0) ■ステンレス(18-0/18-8/18-10)
			 18-8/18-10ステンレスは鍋底の厚さにより 火力が弱くなったり使えないものがあります。
形状	<ul style="list-style-type: none"> ●鍋の底が平らなもので、底の直径が約12~26cmのもの。 ●約12~14cmのものは使えますが火力が弱くなります。 		
	<p>12~26cm (トッププレートに接触する面)</p>		

×使えない鍋

材質	■耐熱ガラス	■陶磁器(土鍋など)	■銅・アルミ	●魚焼き網や網をのせて使用すると、油がトッププレートにたれて汚れや発火の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
形状				<ul style="list-style-type: none"> ●底の直径が12cm未満の鍋、底の直径が26cmをこえる鍋、トッププレートに入りきらないプレート、中華鍋のように底がすり鉢状の鍋、約3mm以上のソリのある鍋、約3mm以上の脚付き鍋、中央が約3mm以上へこんでいる鍋等は使用できません。 ●揚物調理の場合はさらに18cm未満の鍋、約1mm以上のソリのある鍋、脚付き鍋、中央部が約1mm以上へこんでいる鍋も使用できません。 ●使えない鍋の場合、ブザー音にてお知らせします。

(2) 調理中、鍋とトッププレートの間に紙やフキンなどを敷いたり置いたりしないでください。焦げや発火の恐れがあります。

【ラジエントヒーター】※口数、仕様により鍋底の直径が異なります。取扱説明書をご確認ください。

	○適しています	△適していません	×使えません
大きさ	●鍋底の直径が12~26cmのもの		●耐熱ホーロー以外のホーロー鍋 耐熱ホーローと表示のあるものを使用してください
底の形	●鍋底が平らで厚手のもの ●中央部凹が1cm以下のもの		●凹凸の鍋のもの ●ガス直火対応以外のガラス鍋
材質	●ステンレス、鉄、銅などの金属製のもの		●土鍋、打ち出で作られたアルミ、銅などの薄手のもの ●ガス用クッキングパン トッププレートの損傷(割れ、かけ、溶けなど)の原因となる場合があります。

4 浴室

浴室は一日の疲れをいやし、明日への活力を与えてくれる場です。いつも清潔に保ち、気持ちよく入浴できるようにしましょう。浴室は、室内で最も湿気が発生し湿度の高い所ですから、入浴後はもちろん、使わない時でも常に換気に気を配りましょう。

1 ユニットバスのお手入れ



注意

- (1) 硬いたわしや硫酸、塩酸、タイルクリーナー、ベンジン、シンナーなどの洗剤は絶対に使用しないでください。
- (2) 浴室の浴槽は樹脂製です。入浴後すぐに掃除をすると汚れが落ちやすく簡単にすみます。スポンジや柔らかい布で、中性洗剤や浴槽洗剤を使って手入れをしてください。
- (3) ユニットバスの床に硬いものや重いものを落としたりしますと、傷がついたりひび割れを起こすことがあります。
そうなると、水もれの原因になりますので、万一破損した場合は管理会社までご連絡ください。
●床、壁の目地部（コーティング部）は、はがれにより水もれの原因となるため、引っかかないように掃除してください。
- (4) 白っぽくて固いざらざら汚れは、石鹼分や身体の脂肪分が水道水に含まれるカルシウムなどの金属成分と反応してできる汚れで、浴槽の縁や浴室全体にも発生します。
ついてすぐなら浴室用中性洗剤で落とせますが、蓄積した頑固な汚れは浴室用クリームクレンザーを使ってこすり落とします。こすりすぎて表面を傷つけないよう注意してください。
- (5) プラスチックやステンレスの上についたさび「もらいさび」
ぬれたヘアピンやカミソリなどに発生したさびが、プラスチックなどに付着したものです。
また、水道水に含まれた微量の鉄粉が付着して、斑点状のさびが発生することがあります。
浴室用クリームクレンザーで表面を傷つけないようこすり落とします。落ちにくい場合は歯ブラシを使ってください。

■ガス中毒の原因になります！

- カビ取り剤を使用する場合、換気扇を回したり、小窓を開けるなど、必ず換気を行ってください。
- カビ取り剤と浴室用洗剤と一緒に使用しないでください。塩素系ガスが発生することがあり大変危険です。

* 商品の使用上の注意にしたがってご使用ください。



危険

2 入浴後は必ず換気を

留意

入浴後は窓を開けるか、換気扇を回して、浴室内を乾かしてください。そのままにしておくと、カビが生えたりします。また、入浴後、浴室の扉を開けておくと、水蒸気が他の部屋へ逃げて結露の原因になるので注意してください。

3 排水口のゴミの処理について

排水口に落とさず、ゴミ箱へ

洗い場・浴槽のヘアーキャッチにたまつたゴミ、毛髪などは排水口の中へ落とさず、取り除いてゴミ箱へ捨ててください。排水口の中にたまつた場合も同じです。ゴミを中へ入れると排水管が詰まり、いやなニオイがすることがありますので、排水管の中も、入浴ごとに掃除しましょう。アカや毛髪がついたままにしておくと、詰まるだけでなく、悪臭の原因になります。

●洗い場の排水口の外し方

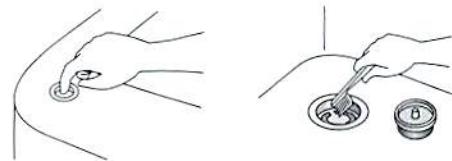


※機種により形状が異なります。

●ワンプッシュ排水栓

浴槽のリム部分などにある、ボタンを押して開閉する排水栓のことです。

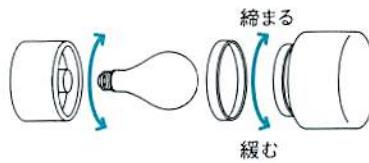
- ①排水ボタンを押して「開」状態にします。
- ②排水栓を真上に持ち上げ、排水口にたまつたゴミや毛髪を取り除きます。
- ③元通りの位置に戻します。



●照明ランプの交換

- (1) 電源スイッチを「切」にする
- (2) 安定した台を用意する
- (3) 照明カバーを外しランプを交換する

※機種により形状が異なります。
※点灯中や消灯直後は、ランプやその周辺に触れないでください。
火傷の原因となります。



指定されているランプ以外は
使わないでください。
(火災のおそれがあります。)



注意

浴槽を傷めないために

- 循環式浄化温水器（24時間バス）に該当する機器は取り付けないでください。
(浴槽表面の荒れ、退色等の変化が早まる可能性があります。)
- イオウ系・アルカリ系入浴剤は使用しないでください。
(浴槽や器具・配管部などを傷めたり、水もれのおそれがあります。)



注意

■のぼるとあぶない

- 風呂蓋の上に体重をかけたり、乗ったりしないでください。
(蓋が外れて中に落ちたりして、ケガや火傷をするおそれがあります。)



警告

■浴槽への転落

- 誤って転落した場合、自力で浴槽から出る事のできない乳幼児などは、入浴時以外浴槽に近づけないようにしてください。
※浴室に乳幼児が不用意に入らないよう、ユニットバスドア付属のチャイルドロックをご活用頂くと効果的です。
- 誤って転落した場合、浴槽内で溺れないように不要な水をためたままにしないでください。



注意

■熱湯による火傷

- 浴槽のお湯を沸かしすぎないでください。
熱湯の中に誤って転落し全身火傷を負う事故が発生しています。
また、沸かしすぎは、浴槽の寿命を短くします。



警告

■浴室を傷めないために

- 目地部を強くこすらないでください。
- 目地シーリングが切れたり、浮いたまま使用しないでください。水もれのおそれがあります。
- クギなどを打たないでください。破損・水もれのおそれがあります。
- 浴室の点検口は、ご自身では絶対にあけないでください。必要時は、管理会社にご連絡ください。
- ドアに強く水をかけないでください。水もれのおそれがあります。



注意

■修復はお早めに

- 目地のシーリングが切れたり浮いたりしている場合には、お早めに管理会社に連絡願います。切れたままにしていますと漏水の原因となります。



留意

浴室

5 洗面所

住宅でこぼし水が一番多いのは洗面所まわりです。床は防水処理をしていません。上階で水をこぼすと下階へもれるおそれがあるので、こぼさないように心掛けましょう。

1 洗面化粧台の注意点とお手入れ方法



- 洗面化粧台の上には乗らないようにしましょう。
- 排水口のヘーキャッチにたまつたゴミ、毛髪などはそのまま流さずに取り除いてゴミ箱に捨てましょう。
- 洗面ボールに化粧水の瓶など硬いものを落とすと陶器が割れたり、ホーロー質がはがれたり、へこんだりする場合もございます。
- 洗面ボールやキャビネットの汚れ落としは、中性洗剤を使って、スポンジや柔らかい布で拭き取りましょう。硫酸、塩酸、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。洗剤で拭いた後は、布を絞って拭き取ってください。
- 洗面キャビネットの扉をあけて、内部がぬれていなかを時々点検してください。水もれ、カビなどを未然に防止することができます。
- 洗面台下の物入れに物を入れすぎて、排水管を押さえつけないようにご注意ください。ジョイント部分からの水もれの原因になります。

■洗面カウンター使用上の注意・お手入れ

- 木部に濡れたタオルをかけないでください。
- 木部に水をかけたり、濡れたまま放置しないでください。
- 固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤は使ったり、近づけたりしないでください。
- 陶器に熱湯を注がないでください。
- カウンター表面に傷がつくおそれがあるので、研磨入りの洗剤やナイロンたわしなどで清掃しないでください。

■抗菌仕様について

※抗菌仕様は、菌の繁殖を抑制する効果を持ちますが、
菌がまったくなくなるわけではありません。
したがって、感染などを完全に防げるものではありません。

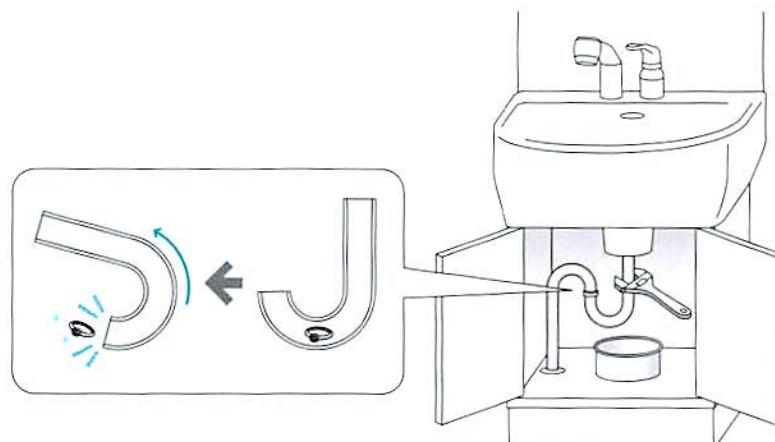


■清掃ポイント・注意

- スイッチ、コンセント、電源プラグ、照明器具に水をかけないでください。
また、濡れた手で触らないでください。漏電、感電のおそれがあります。
- 冷水、熱湯等を鏡にかけないでください。鏡が破損するおそれがあります。
- 照明を交換する場合は、必ずスイッチを切ってから行ってください。
感電のおそれがあります。

2 洗面ボウルに指輪などが落ちた時

洗面台の下にある排水トラップがS字状の場合は、この部分に落下物がたまります。
モンキーレンチなどでナットを緩め、トラップを外し落としたものを取り出します。
この時、排水管の下に洗面器などの水を受ける容器を置き、床がこぼれた水でぬれないようにしてください。



3 洗濯機の給水・排水ホースの取り付け



注意

給水栓に強固に取り付け

①給水ホースの取り付け

洗濯機の給水ホースは、給水栓に強固に取り付けてください。特に全自動では、ウォーターハンマー現象で、抜けることがあります。ウォーターハンマー現象とは、水道栓を急に止めたとき起こるもので、水管をハンマーでたたいたような音がします。急に水道栓を止水したり、全自動洗濯機を使ったときに起こることがありますが、ひどい時には水管が破裂することがありますので、管理会社に相談してください。

②排水ホースの取り付け

●洗濯機の排水ホースは、防水パンの目皿についているゴムエルボへ洗濯機排水ホースを十分に差し込み、バンド等で締め付けて抜けないように固定してください。

■洗濯機排水トラップ・防水パンのご使用

- 洗濯機置き場には排水トラップ・防水パンを設置しています。どちらの場合も差込口のゴムエルボへ洗濯機排水ホースを十分に差し込み、バンド等で締め付けて抜けないように固定してください。洗濯機ホースの未接続・ホース抜けますと漏水事故になります。
- 目皿・防臭ワン・ワンは定期的(1か月に1回程度)に清掃してください。糸くず等が詰まり排水が溢れだすことにより漏水事故になります。
- 洗剤を使い過ぎると、他の住戸の排水口や排水樹から泡が吹き出る恐れがあります。



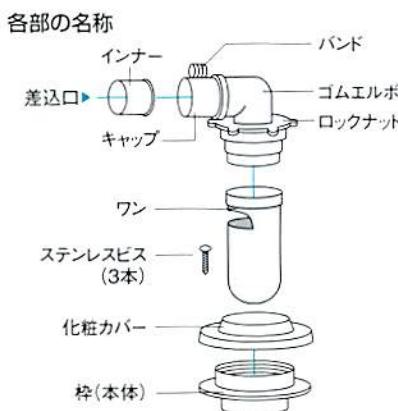
注意

■全自動洗濯機をお使いの場合

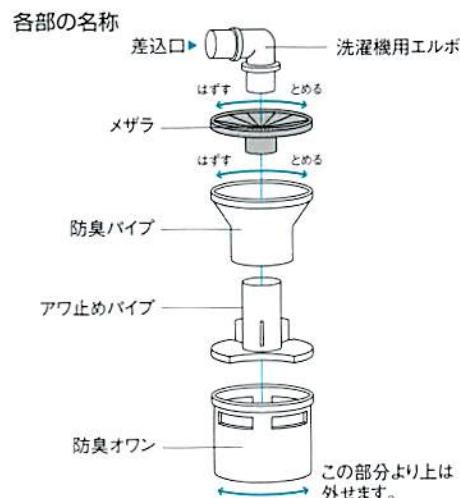
使い終わったら必ず給水栓を締めてください。水もれの原因になります。



●洗濯機排水トラップ(防水パンがない場合)



●洗濯機排水トラップ(防水パンがある場合)



お手入れのしかた

- ①ロックナットのネジをゆるめ、ゴムエルボを本体から取り出します。
 - ②本体からワンを取り出し、付着したゴミを取り除きます。
 - ③ワンを本体へ戻します。
 - ④ゴムエルボを本体へ戻し、ロックナットのネジを締め付けます。
- 作業後は、必ず漏水がないか確認してください。

お手入れのしかた

- ①洗濯機用エルボを抜き、メザラ、防臭パイプを左に回し、防臭オワンまでを取り外します。
- ②メザラや防臭オワン内部に、ゴミ詰まり等なきよう時々清掃してください。
- ③清掃後は逆手順で元通りに納めてください。

6 トイレ

1 トイレが詰まった時

ラバーカップで手早く修理

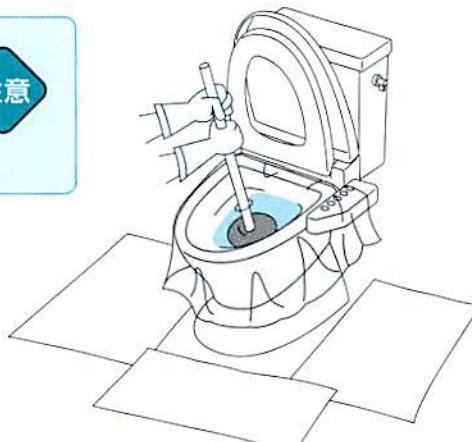
トイレが詰まつたら、ラバーカップを使い、詰まりを解消しましょう。

※直らない場合は、管理会社に連絡してください。

洗浄水を節約するために、ロータンクの中にペットボトルなどの異物を入れると、故障の原因になるばかりでなく、汚水管が詰まつたり、浄化槽の機能が十分果たせなくなるのでやめましょう。



注意



注：ラバーカップを使用する時は、まわりに新聞紙や雑巾などを敷いて便器を覆える大きさの透明ビニールシートを用意し、その中央に穴を開け、そこにラバーカップの柄を通して作業すると、汚水が飛び散るのを防ぐことができます。
(ラバーカップは、最寄りのホームセンター、金物店で購入できます。)

2 トイレの水が止まらなくなった時

まず止水栓を閉めてください！ それから原因の究明を

① トイレの水が止まらない時

ロータンクから水を流す方式の場合、水が止まらない原因には次のどちらかに異常があると考えられます。

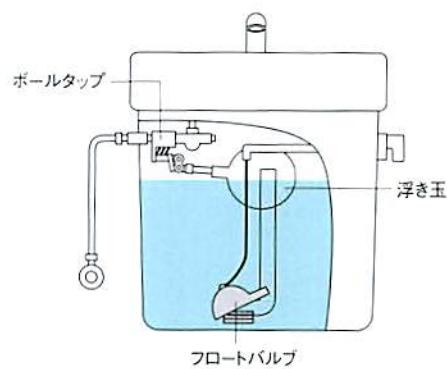
- (1) ボールタップ（水の入口）が適正に作動せず、水の流入が止まらない。
- (2) 排水金具のフロートバルブ（水の出口）が定位置に収まらず、排水口から水が流出し続けている。

ボールタップとは……

●ロータンク内に取り入れている水が満水になった時、浮き玉が上がって水の流入を止める装置です。

フロートバルブとは……

●タンク外側のレバー操作によって排水金具のフロートバルブを持ち上げ、排水口を開放して水を流す装置です。



② 原因を探す

(1) 止水栓を閉めて原因を探す

ロータンクの横にある止水栓を閉め、タンクへの水の供給をストップします。この状態で便器への水もれが止まれば、故障の原因是ボールタップの中のピストンバルブのパッキンと考えられます。水もれが止まらなければ、排水金具のフロートバルブの磨耗か、この部分にゴミがたまっているためと考えられます。

(2) 止水栓を開けて原因を探す

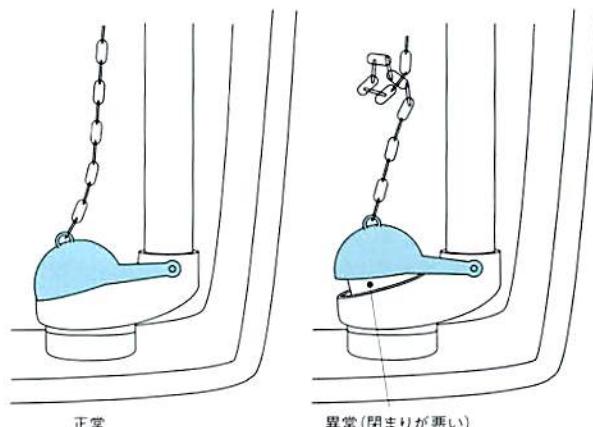
止水栓を開けた状態で、浮き玉を少し持ち上げると水もれが止まる場合は、タンクの満水時に浮き玉が十分上がっていないためにボールタップの弁が閉まらず、オーバーフロー管に水が流れ込み水もれが起きているのが原因と考えられます。



③ フロートバルブの手入れと交換

フロートバルブの閉まりが悪い原因を調べます。ゴミや水アカが排水口とフロートバルブの間に詰まっているか、取付部分が外れていないか、クサリが引っかかっていないなどを点検し正しく作動するように手入れをします。フロートバルブが古くなって老化していた時は交換してください。

※直らない場合は、管理会社に連絡してください。



3 水が出ない時

(1) 浮き玉がタンクの壁に引っかかっている

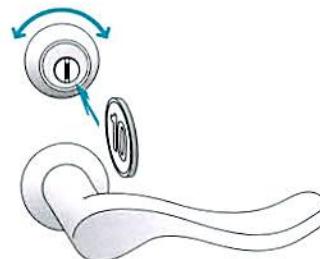
▶ボルトタップの固定ナットを緩め、垂直につけ直します。

(2) チェーンが外れている

▶チェーンをつなぎ直します。

4 ドアのカギを外側から開ける時

トイレで急に倒れたりして中からカギがかかったままの場合には、外から解錠することが可能です。ドアノブのネジ穴の部分に \ominus ドライバー（コインも可）を差し込んで、回して開けてください。



5 温水洗浄便座のお手入れとご注意

① 日頃のお手入れ

(1) 本体のお手入れ

- 軽い汚れは十分に絞った柔らかい布で水拭きしてください。
- 頑固な汚れは、食器用中性洗剤のうすめた液（100倍程度）を布につけ、固く絞って拭いてください。
使用後は、水道水で湿らせた布できれいに拭き取ってください。
- 機種によっては、本体、便座、便座のフタを取り外して清掃できるタイプもあります。

(2) シャワーノズルのお手入れ

- ノズルを引き出し、洗浄水が噴出する穴が汚れていたら歯ブラシなどで掃除してください。
 - ノズルを無理に引っ張ったり、曲げたりしないでください。
- ※詳しくは、機器の取扱説明書をご覧ください。

② 注意事項

- アースを確実に取り付けてください。機種によっては、漏電保護プラグタイプのものもあります。
このタイプのものは、月に1~2回はテストボタンを押して作動テストをしてください。
- 本体を水につけたり、水をかけないでください。ショート、感電のおそれがあります。
- 長時間使用されますと、低温火傷を起こすことがあります。
- 分解したり、修理改造は、修理担当者以外の人は、行わないでください。

6 暖房便座のお手入れとご注意

① 日頃のお手入れ

- 便座が汚れた時は、から拭きしてください。
- 頑固な汚れは、食器用中性洗剤のうすめた液（100倍程度）を布につけ、固く絞って拭いてください。使用後は、水道水で湿らせた布できれいに拭き取ってください。

② 注意事項

- 本体を水につけたり、水をかけないでください。ショート、感電のおそれがあります。
- 長時間使用されると、低温火傷を起こすおそれがあります。
- 分解したり、修理改造は、修理担当者以外の人は、行わないでください。

■トイレ使用上の注意事項



- 酸性の洗剤と塩素系の漂白剤は、絶対に同時に使わないでください。有毒ガスを発生し、大変危険です。
- トイレットペーパー以外に新聞紙、紙おむつ、ティッシュペーパー、生理用品、布きれなどは絶対に流さないでください。
- 洗濯水や掃除の水などは流さないでください。
- 洗剤は中性のものを、所定の倍率でうすめて使うようにしましょう。トイレの床は防水していませんので、水洗いをせず、水拭きをしてください。
- 便座のフタや便器本体を踏み台にしたり、重いものを載せないでください。
- 便座および便座のフタの開閉は乱暴に行わないでください。
- 誤って異物を落とした場合、そのまま水を流すと便器が詰まり汚水があふれ床を汚すことがあるので、必ず取り除いてください。
- 暖房便座・温水洗浄便座は必ず差し込みプラグを抜いてからお手入れしてください。
- タンクのフタの上に、据え置き型の芳香剤やガラスなどのアクセサリーやガラス玉を置かないでください。
- 手洗い部分に芳香剤や飾り物を置かないでください。タンク内の金具に影響をおよぼしたり、排水管を詰まらせたりして、故障の原因になります。
- ロータンクの中に、洗浄剤（固形）や水量調整のためのビンなどの物を入れないでください。フロートバルブが閉まらなくなる原因になります。
- 夏場にタンクの結露が発生することがありますので、換気を心がけてください。



■暖房便座による低温火傷



- 健康な大人には適温でも、下記の方がご使用になる時は低温火傷（紅はん、水ぶくれ）を起こす事がありますので、ご家族の方がご注意ください。
- 乳幼児、お子様、お年寄り、ご自分で意思表示できない方
 - 病気で温度感覚の無い方
 - 体の不自由な方
 - 皮膚の弱い方
 - 疲労の激しい時
 - 深酒や睡眠薬を使用している時

■抗菌仕様について



抗菌仕様のものは、機能を生かすためにこまめに掃除しましょう。

7 居室(リビング・洋室・和室)

1 シート貼フローリング(木目調・大理石調)のお手入れ

①普段のお手入れ

掃除機でゴミを取り除いた後、化学雑巾やモップ等で軽く拭いてください。

②特に汚れがひどい場合のお手入れ

住宅用の中性洗剤を薄く溶かした雑巾で拭いた上、きれいな雑巾で水拭きし、洗剤を拭き取ってください。

■ワックス掛けについて

表面は化粧シートですのでワックス掛けを行わないでください。ワックスの効果は発揮されず、塗りムラができます。



注意

留意

■より長く美しくお住まいいただくための留意事項

●水を嫌います

目地部から染み込んだ水分は腐食や反り、はがれの原因になることがあります。水拭きをする場合は固く絞ってできるだけ水分をなくしましょう。また水拭き後は風通をよくして十分に乾燥させます。

●熱を加えると伸縮して隙間が発生します。

電気カーペットや温風暖房機など熱が直接フロア材に伝わらないように市販の断熱シートを使用するなどして十分な注意をしてください。高温はゆがみの原因になるだけではなく熱でフロア材の水分がなくなり伸縮によって隙間が発生するおそれがあります。

●傷・凹みを防ぐために

■キャスター付きの椅子

カーペットなどを敷いてフロア材表面を保護してください。

■ピアノなどの重量物

設置については管理会社に連絡のうえ相談してください。

集中する荷重に注意してください。重さが1点に集中すると凹みの原因になるので、脚部に敷板を敷き重量を分散させてください。また移動時は引きずらないようご注意ください。

■ペットの爪

ペットの爪でフロア材表面を傷つけるおそれがあります。

●汚れについて

■火のついたタバコを落とした場合

アルコールを含ませた布で拭きとってください。ただし、表面が膨れ、焦げ目はとれません。

■毛染め剤、靴墨、家庭用バーマ液等

化学製品の汚染はとれません。使用する場合は必ず床の上にカバーをしてください。

■ペットの排泄物について

すぐに拭きとってください。長い時間放置すると目地部シミ・変色の原因になります。

※ダンベル等の重量物を床や畳に落下させた場合は、床や畳の下地の点検が必要になります。

2 クッションフロア・塩ビタイルのお手入れ

日常のお手入れ

●掃き掃除

ほうき、家庭用掃除機でゴミ、ホコリ等を取り除いてきれいにしてください。

●水拭き

汚れは、固く絞った雑巾やモップを用いて水拭きしてください。

※水拭きで取れない汚れは、プラスチック系床材用クリーナーや家庭用洗剤を使用して拭き取ってください。

■塩ビシートの取り扱いについて

●油性ペンキ、植物油、油性マジック等の油脂類の汚れは、できるだけ広げないように早めに乾いた布で拭き取ってください。

●家具や椅子の脚ゴムなどのゴム製品、塗料、防腐剤、防虫剤等によって、シートが汚染され変退色を招く可能性があります。これらとシートが直接触れないようにしてください。

●温風ヒーター吹き出し口にはマットを設置するなどして、温風が直接シート表面に当たることを避けてください。

●長時間直射日光が当たる場所では、変退色する可能性がありますので、カーテン・ブランク等で日よけをしてください。

●家具やハイヒールなどの局部荷重により凹み跡が残る場合があります。

●長時間水漏れ状態で放置されると白化することがあります。



注意

3 畳のお手入れ

月に一度はしっかりふき掃除

畳表の目に沿って掃くか、掃除機をかけた後、月一回程度は少量の中性洗剤入りのぬるま湯で固く絞った雑巾で拭いてください。なお、直射日光と湿気を避け、部屋の風通しをよくしてください。

ト
イ
レ居
室

4 水廻り用フロア

- クリーニング時には、中性洗剤を水で薄めた溶液に雑巾を濡らし固く絞り、水廻り用フロアの表面を拭きあげてください。有機溶剤等を使用すると艶ムラの原因となります。
- 基本的にはワックス掛けの必要のないワックスレス仕様です。
- 水濡れすると滑りやすかったり、床材の膨れや剥がれの原因になります。
お風呂あがりに水濡れした場合や、床に液体などをこぼした場合はすぐに水分を拭き取ってください。

5 タイルカーペットのお手入れについて

- 日常メンテナンスとして掃除機がけを行ってください。固く絞ったタオルで拭くと効果的です。
- 汚れたら、その部分だけを外し、薄めた中性洗剤を染みませたスポンジ等で水洗いしてください。
手洗いする際、表面の特性上力強くこすると毛羽立つ恐れがありますので優しく洗ってください。
また、洗剤を用いて手洗いする際には十分すぎを行ってください。(洗剤が残っていると再汚染の原因になります)
ドライクリーニングはできません。
- 洗濯機による洗濯、脱水は行わないでください。
- 乾燥機による乾燥は行わないでください。
- 洗った後は、完全に乾燥させてから使用してください。(乾燥は風通しのよい場所を選んで陰干してください)
水分が残ったまま使用、あるいは収納すると変形・変色・変質・表面の損傷・カビの発生などを招く場合がありますのでご注意ください。(乾燥、保管は平坦な場所で行ってください。変形の原因になります)
- 使用中や洗濯後に端部の繊維のほつれや毛羽立ちが起きたときは、引っ張らずにその部分だけをハサミ等で丁寧に切り取ってください。
- 汚れが付着した際には、すぐに汚れが抜がらないように注意して拭き取ってください。時間の経過とともに除去しにくくなります。
汚染物質によっては除去不可能なものもあります。
- シミ取り剤・漂白剤・カビ取り剤などは、表面材の変色、損傷の可能性がありますのでご注意ください。
- 殺虫剤などの害虫駆除剤の中には、表面材を変色させる可能性のあるものがあります。事前に駆除業者にご相談ください。
- 直射日光など、環境条件によって変退色の可能性があります。
- 家具などの局部荷重により、凹み跡が残る可能性があります。
- ある種の家具の脚ゴムやゴムマットなどのゴム製品、塗料、防腐剤、防虫剤などの中には製品の表面が汚染され変退色を招く可能性があります。
これらに直接触れないように配慮してください。

6 クロスのお手入れ

強くこすらないように

ハタキや掃除機でホコリを取り除いてください。クロスを部分的に汚してしまった時は、すぐにタオルなどの柔らかい布を固く絞って拭き取ってください。水分を含ませた状態で放置すると、クロスがはがれる原因になります。また、強くこすると表面の色柄が落ちることがありますので、強くこすらないようご注意ください。

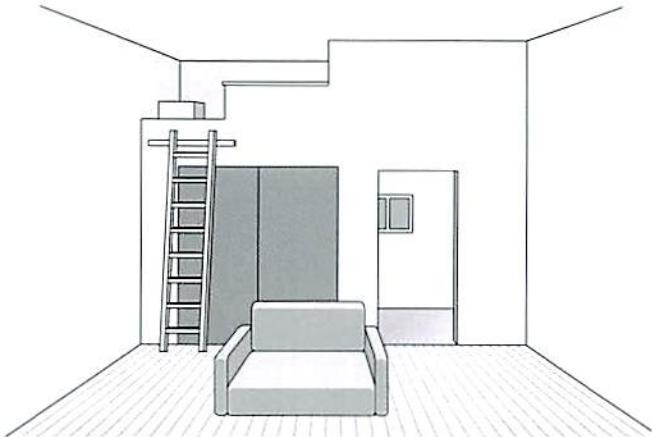
7 調湿化粧板

調湿化粧板とは、表面がザラザラした調湿機能を有した化粧壁材です。
部分的に汚れがついてしまったときは、すみやかに中性洗剤を浸した布で軽く叩くように拭いてください。

8 収納・内部建具

1 小屋裏収納・ステップ収納

住戸によっては、下図のように小屋裏を利用した収納スペースを設定した部屋がありますが、使用に関しては右記の項目について注意してください。



■小屋裏収納使用上の注意事項

- 小屋裏の収納スペースとしてご使用ください。
- 小屋裏収納部にて、就寝したり、居室として使用することは、やめてください。転落のおそれがあります。
- 小屋裏収納部の手すりにものをかけたり、もたれたり、ぶら下ったりしないでください。
- 小屋裏収納部にものを収納する場合は、転落防止に気をつけてください。
※積載荷重は150kg/m²まで
※重いものを一ヶ所に集中しておかないでください。



警告

ワックス掛けはしないでください。
滑ってケガの原因となります。



注意

■はしご使用時の安全に関する注意事項

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

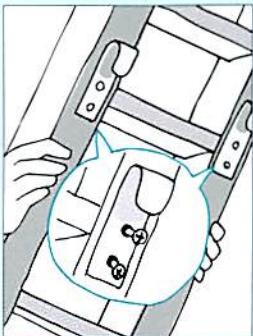


警告

- ①はしごやパイプのビス・ナット類の緩み、外れに注意してください。

ナットなどが外れると事故の原因になります。

- 万一、ビス・ナット等が緩んでいた場合は、ただちにスパナやドライバーで締め直してください。



- ②150kg以上の荷重で使用しないでください。

制限荷重を超えると、湾曲・破損事故の原因となります。



- ③はしごは小屋裏収納以外の目的には使用しないでください。

はしごがすべて落下降するおそれがあり、事故・ケガの原因となります。



- ④収納してある状態のはしごでは昇り降りしたりゆさぶったり遊ばせたりしないでください。

事故・ケガの原因となります。



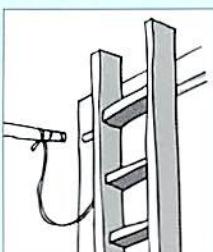
- ⑤はしごに背を向けての昇降はしないでください。

安定を欠き踏み外すおそれがあり、ケガの原因となります。



- ⑥倒れ防止ベルトは外さないでください。

ケガや事故の原因となります。



- ⑦スリッパ等の履物を履いたままの昇り降りはしないでください。

すべて踏み外すおそれがあり、ケガの原因となります。



居室

収納・内部建具

2 クローゼットドア

- クローゼットドア(折れ戸タイプ)の開閉にはご注意ください。扉の間に指をはさみ込むおそれがあります。



注意

3 カーテンレール

- カーテンレールに洗濯物を干したり重いものを吊らないでください。



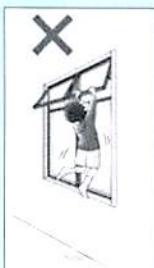
注意

4 室内窓

- 突き出し窓の開閉部に顔や頭をいれない 大きなけがをするおそれがあります。
- 絶対に分解・改造しない 窓が落下し、大きなけがをするおそれがあります。



警告



- ぶら下がったり、よじ登ったりなどしない転倒、落下の原因になりけがをするおそれがあります。



- 強い衝撃を与えたたり物をぶつけたりしない室内窓が、衝撃により破損・変形するおそれがあります。



- シンナーやアルコール・ベンジンなどの溶剤でふかないひび割れや部材の劣化による破損などによりけがをするおそれがあります。

- 物をぶら下げない
室内窓が、破損するおそれがあります。

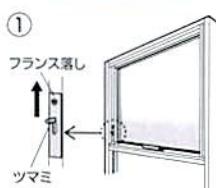
- 幼児が単独で開閉操作を行わないようにする
手足や指をはさみけがをするおそれがあります。

- 窓の開閉中に手足や指を入れない
手足や指をはさみけがをするおそれがあります。

- 幼児が近くにいる場合は、幼児が手足や指をはさまないように窓の開閉を行う
手足や指をはさみけがをするおそれがあります。

突き出し窓の開閉方法 (表側) ※開閉操作は (表側) から行います。

突き出し窓を開ける時



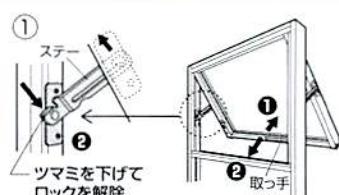
- フランス落しのロック用ツマミを一番上まで上げてロックを解除する



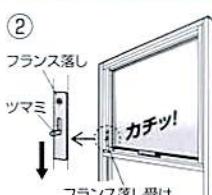
- 取っ手部分を持って「カチッ!」と音がするまで押し上げる

※安全のためステー(トルク)にはブレーキ機能がありますが、突き出し窓を任意の角度で止めるフリーストップ機能ではありません。
必ずロックがかかるまで窓を開けてください。
※突き出し窓の開閉に必要な操作力には個体差があります。

突き出し窓を閉じる時



- 突き出し窓を少し押し上げる
- ステーのツマミを下げたまま突き出し窓を引き込む



- ツマミを一番下まで「カチッ!」と音がするまで下げてロックする

5 内部建具

建具の調整は一見難しく思えますが、実際にやってみると意外と簡単です。建具のタイプに合わせて、適切な調整を行ってください。

① インテリアドア・インテリア引戸

(1) インテリアドアの建付け調整

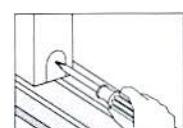
【左右の調整】	【上下の調整】	【前後の調整】
<p>まず蝶番についている樹脂製のカバーを外してください。</p> <p>●ラッチが掛からない場合、戸先側に寄せます →調整ネジを右に回す</p> <p>●当たる場合、吊元側を寄せます →調整ネジを左に回す</p> <p>①固定ネジを$+$ドライバーで緩める。 ②調整ネジを$+$ドライバーで回す。 右に回す… 戸先側に移動(最大約2mm) 左に回す… 吊元側に移動(最大約2mm) ③調整後、固定ネジを締め付ける。 最後にカバーをつけて戻してください。</p>	<p>まずカバーを外してください。</p> <p>●当たる場合、下に下げます →調整ネジを左に回す</p> <p>●当たる場合、上に上げます →調整ネジを右に回す</p> <p>①軸力バーを外す。 ②調整ネジを$+$ドライバーで回す。 右に回す… 上に上がる(最大約2mm) 左に回す… 下に下がる(最大約2mm) ③最後にカバーをつけて戻してください。</p>	<p>まずカバーを外してください。</p> <p>●空く場合、戸当たり側に寄せます</p> <p>●当たる場合、持ち出し側に寄せます</p> <p>①固定ネジを$+$ドライバーで緩める。 ②調整ネジを$+$ドライバーで回す。 前後調整ネジは、エンドレスに回転します。寄せたい方向に動くまで、回してください。 戸当たり側へ最大2mm移動可能 持ち出し側へ最大2mm移動可能 ③調整後、固定ネジを締め付ける。 最後にカバーをつけて戻してください。</p>

(2) インテリア引戸の建付け調整・引戸ブレーキ

引戸の建付けは調整式下戸車により調整することができます。

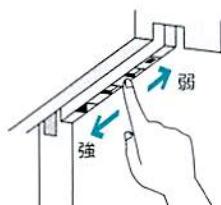
左方向へ回すと壁とのすき間が広くなり、建付けが緩くなります。

右方向へ回すと、壁とのすき間が狭くなり建付けが締まります。



引戸ブレーキは使い方に合わせて「強」「弱」を選ぶ

最近の引戸は軽くてスベリのいい素材や設計ですので、勢いよく開けると、はね返ったり、大きな音がして耳障ります。これを防止するために考えられた「引戸ブレーキ」なら「強」「弱」が調整できるので、各家庭の使い具合に合わせて選べます。



(3) 間仕切り錠の解錠方法

緊急の場合、外側からコインを溝に差し込んで左右どちらかに90度回転させれば間仕切り錠を解錠することができます。



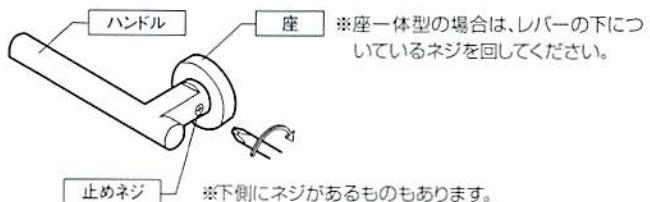
(4) ガラスの交換

万一ガラスが破損した場合、ドアの構造上ガラス単体での交換はできません。ガラスの交換は管理会社へご連絡ください。

(5) ハンドルの調整

【ハンドルが緩んでいる場合】

ハンドルと座に隙間ができるよう、ハンドル止めネジを手回しのプラスドライバーで充分に締め付けてください。

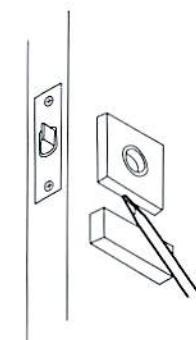


【座が緩んでいる場合】

- ①ハンドル止めネジを緩め、ハンドルを取り外します。
- ②座カバーの切り欠き口にマイナスドライバー等を差込み、座カバーを外します。(当て木等を使ってドアにキズを付けないようご注意ください)
- ③ハンドルを仮に差込み、正常に動く事を確認しながら、座の取付ネジを手回しのプラスドライバーで充分に締め直します。(座や扉が変形するほど締め付け過ぎないようご注意ください)
- ④ハンドルを一旦抜き、座カバーを座の切り欠きに合わせはめ込みます。
- ⑤ハンドルを差込み、ハンドル止めネジを手回しのプラスドライバーで締め付けます。



※座カバーを外すための切り欠き口は、座の種類によっては下側となります。



■ 取り扱い上の注意

- 開閉の際に指や手を挟まないように、特にお子さまやお年寄りは注意をしてください。
- ドアにもたれたり、物をもたせかけないでください。転倒や落下事故のおそれがあり危険です。また、ドアの反りの原因にもなりますのでご注意ください。
- ドアのレバーハンドルなどの金物にぶらさがらないでください。転倒や落下事故のおそれがあり、非常に危険です。
- 換気、風通しのためにドアを開放しておく場合は、必ず、戸当たり金物で固定してください。風にあおられて急に開閉し、危険です。また強くドアが閉まると衝撃でガラスが割れる原因ともなります。
- ガラスにとがった金物を当てる、キズをつけたり、強い衝撃を与えないでください。割れてケガをするおそれがあり非常に危険です。
- ドアの錠前は、簡易的なものであり、盗難予防にはなりません。ご理解ください。
- ドアやドア枠・レバーハンドルをたわし等の硬いものでこすったり、強アルカリ、強酸、塩素系の洗剤、シンナーなどの溶剤の使用は避けてください。表面を傷めたり、変色のおそれがあります。



注意

(6) お手入れ方法

- 軽い汚れは固く絞った雑巾で拭いてください。レールのホコリは掃除機ノズル等で吸い取ってください。
- レバーハンドルは柔らかい布でから拭きしてください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液に柔らかい布に浸して、拭き取ってください。その後、乾いた布で水気を拭き取ってください。



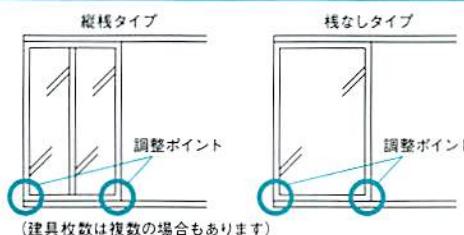
注意

■建付け調整時・レバーハンドルの調整時の注意

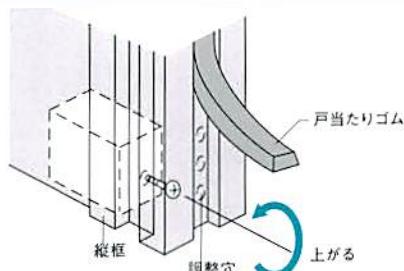
- 調整には電動ドライバーや、サイズの合わないドライバーは使用しないでください。調整ネジが破損するおそれがあります。
- この蝶番は、下蝶番でドア重量を支えていますので、重い扉等の場合の調整時にはまくら木等でドアを浮かし気味にして行ってください。
- 蝶番吊り込み後は、固定ネジがしっかりと締め付けられているかを確認してください。
※固定ネジが、しっかりと締め付けられていないと、音鳴り・磨耗等の不具合の原因になる可能性があります。
- 調整後は必ず、樹脂製のブラケットカバーを装着してください。

②ライトスルースクリーン

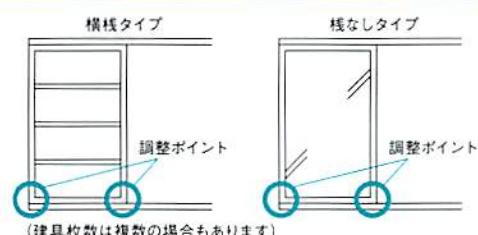
(1) 縦桟・桟なし Lタイプ 建付け調整



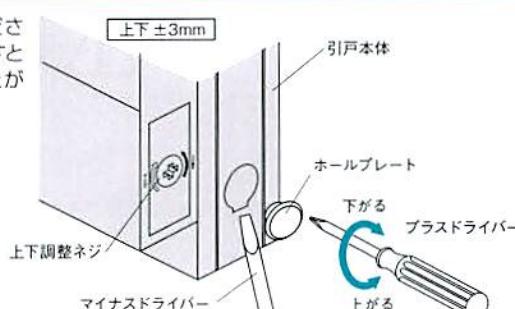
戸当たりゴムの下部をめくって、3つの穴の一一番下の調整穴を④ドライバーで上下調整を行ってください。



(2) 横桟タイプ・桟なし Dタイプ 建付け調整



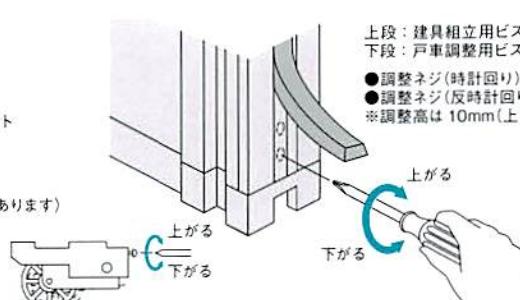
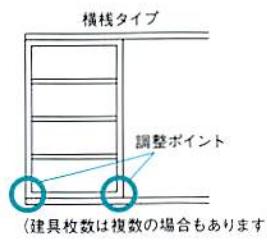
ホールプレートを外してください。上下調整ネジを右へ回すと障子が下がり、左へ回すと上がります。



(3) 横桟タイプ Yタイプ 調整

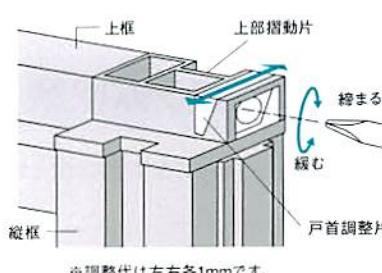
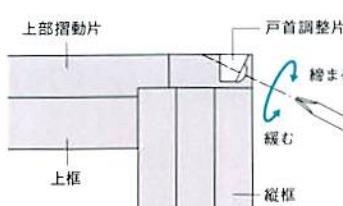
①建付け調整

ゴムカバーの下部をめくって、下の調整用ビスを④ドライバーで調整を行ってください。



②戸首調整

障子にがたつきがあれば右図の様に調整してください。
上部摺動片に斜め横よりドライバーでネジを緩め、左右どちらかに調整片を動かし固定してください。



(4) お手入れ方法

- 軽い汚れは水拭きし、乾いた布で水気を十分に拭き取ってください。

- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で軽く洗い流し、乾いた布で水気を拭き取ってください。

- アクリル樹脂板の白化やひび割れの原因になりますのでベンジン、アセトン、シンナーおよびガラスクリーナーは使用しないでください。

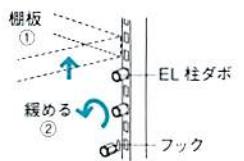
6 ワンステップクローゼット

- 棚板 取り付け高さを変えることができます
- ハンガーパイプ 取り付け高さおよびレイアウトを変えることができます

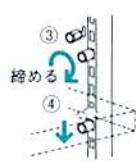
■使用方法

- 移動させる際には、必ずあらかじめ載荷物を全て取り除いてください。

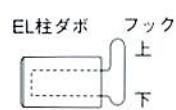
(1) 棚板の移動方法



- ①棚板を取り外し、安全な所に置きます。
- ②EL柱ダボを反時計回りに回し、緩めてください。



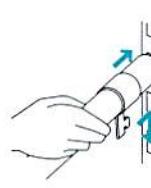
- ③移動したい高さに合わせ、フックが上向きになるように挿入します。
- ④EL柱ダボを時計回りに締めて固定し、棚板を乗せれば完成です。



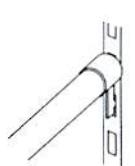
(2) ハンガーパイプの移動方法



- ①ハンガーパイプを軽く持ち上げ、両端のパイプソケットを引き上げ、内側にずらしてください。



- ②移動したい高さに合わせ、パイプソケットを外側にずらし、可動棚レールに差し込みます。



- ③図のようにしっかりと引っ掛け、ハンガーパイプが水平になっているか確認してください。

■ワンステップクローゼット 使用上の注意事項



注意

- ワンステップクローゼットの荷重は以下のとおりです。
下記の荷重以上のものを載せないでください。
ハンガーパイプ:30kg 棚板:20kg ハンガー:5kg/1フック
- 1点に集中してものを置かないでください。
- 可動棚は乾拭きを基本とし、汚れがひどい時は強酸アルカリ洗剤を避け、中性洗剤で拭き取ってください。



7 マルチシステム収納

※棚板1枚当たり16kg以上のものを載せないでください。



8 押入れ

布団などの大きなものも収納可能です。枕棚・中段が用意されています（建物により設定されている部品は異なります）。使用にあたっては以下の注意事項を守り正しくお使いください。



■中段・枕棚使用上の注意事項

- 中段・枕棚への荷重は以下のとおりです。
下記荷重以上のものを載せないでください。
中段：70kg 枕棚：40kg
固定ハンガーパイプ：6cm当たり1kg
- 1点に集中して物を置かないでください。



注意

10 いすっこ(玄関可動ベンチ)

玄関でブーツや紐靴など、立って履くのが困難な靴を履く時や、手助けの必要な方の靴の脱ぎ履き時に一時的に利用する可動ベンチです。

以下の注意事項を守り、正しくお使いください。



■いすっこ使用上の注意事項

- ベンチの上に立ったり、座ったまま遊んだりしないでください。破損・ケガの原因となります。
- 当住戸の備品ですので、退居時に持ち出さないでください。
- 一時的に座ることを目的としていますので、「常時使用するいす」として使用しないでください。
- 直接濡れたものを置いたり、収納しないでください。破損のおそれがあります。
- 下記荷重以上のものを載せないでください。
(下記荷重以下でも、勢いをつけて荷重をかけないでください。)
・ベンチ座面：100kg
・ベンチ収納部：5kg



注意

12 その他使用上の注意事項

- 棚やハンガーパイプにぶら下がったりしないでください。
- 小さなお子様のいるご家庭では、棚や引き出しの先端に顔・頭や手をぶつけないようご注意ください。
- 棚の上にものを載せる場合、載せたものが落ちないように注意してください。
- 直接、濡れたものを棚板・天板の上に置かないようにして、必ず水分を拭き取るようにしてください。
- お手入れは乾いた雑巾をご使用ください。



注意

■天井点検口は、常時は閉めておいてください

目視での天井点検以外は、管理会社または専門業者が行いますので、天井点検口より小屋裏に入らないでください。

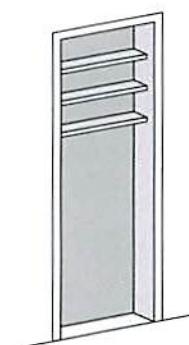


注意

9 レールニッチ収納

両側のレールにより棚板の高さが調整できます。

※棚板1枚当たり10kg以上のものを載せないでください。



11 トイレサイドカウンター

トイレの一角に設置された収納システムです。トイレットペーパー等が収納できます。以下の注意事項を守り正しくお使いください。



■トイレサイドカウンター 使用上の注意事項

- カウンターに乗らないでください。手すりとしての補助機能は有していますが、人が乗ることまでは想定していません。
- ストーブなど高温となるものを近づけないでください。変形／変色の原因となります。
- カウンターの上にはゴム製品は載せないでください。ゴムの成分がカウンターに付着することがあります。
- 柔らかい布かスポンジに石けんまたは、食器用中性洗剤をつけて拭いてください。その後もう一度水ぶきしてから、乾いた布で水分をきれいに拭き取ってください。



注意

9 電気

便利な電気も使い方を間違うと危険です。使用の開始前には所轄の電力会社に連絡し、手続きをしてください。

■電気事故を防ぐための注意事項

- タコ足配線は絶対にしないでください。
- 洗濯機、冷蔵庫、電子レンジなど、アース線がついている器具は必ずアースを設置しましょう。アース線は必ずアース端子に接続してください。ガス配管、ガスcock、水道栓にアースを接続しないでください。
- ぬれた手で電気器具やスイッチに触ると、感電のおそれがあります。汗をたくさんかいている時も要注意です。
- 電気器具は水分を嫌います。湿度の高いところに置くと事故の元になります。
- コンセントは一ヶ所(2口の場合は合わせて)1500Wを超えて使用すると過熱して発火する危険があります。
- トラッキング現象※による火災を防ぐためには、コンセントに差し込んだままのプラグにホコリなどが付いていないか、点検・掃除をする事が大切です。
※プラグとの隙間にホコリがたまると、そのホコリが湿気を吸うことによって発熱し発火に至る現象



■共用部の照明が切れている

- 共用部の照明が切れている場合には、管理会社に連絡願います。



1 照明器具

①どなんものが取り付けOK?

- 600W以内、かつ5kg以内のものを。



天井には引っ掛けシーリングがついていますから、これにあったプラグのついた器具を付けてください。ワット数は600W以内です。重量が5kgを超えるものは使わないようにしてください。

②照明器具の球交換

住戸内の照明器具の球が切れた場合、「球の種類」と「口金サイズ」を確認し、交換を行ってください。購入の際に、切れたランプを見本として持っていくとよいでしょう。異なる種類の球を入れ替えた場合、器具に加熱等による負荷がかかったり、器具の寿命を縮める原因となります。また、器具から球がはみ出たり、明るさや光り方が変わるために、同じ「球の種類」にて交換してください。

- 点灯中や消灯直後は、ランプやその周辺に触れないでください。火傷の原因となります。



ユニット型(ランプ一体型)器具の光源交換については、管理会社にご連絡ください。

2 ブレーカーが切れた時

容量を超えた電気製品のご使用を止め、5分程度待ってからブレーカーを入れてください



①分電盤とは

分電盤は、電力会社から供給される電気を各部屋へ送ります。分電盤には安全ブレーカーが組み込まれており、一回路当たりの最大使用可能容量を超える電気が流れた場合、自動的に回路を遮断する機能を持っています。

③ブレーカーの入れ方

切れたばかりのブレーカーは熱を持っている場合があります。5分程度待ちブレーカーを入れてください。どうしても入らない場合やメインスイッチが切れた場合は漏電の可能性がありますので、最寄りの電力会社、または、速やかに、管理会社へご連絡ください。

②ブレーカーが切れた時

最大使用可能容量(2,000W)以上の電気が流れた場合は、自動的に回路が遮断されます。ブレーカーが切れた場合は、すぐに入れずに容量を超えた電気機器の使用をやめてください。

④ブレーカーは、月に1度点検してください

洗濯機や乾燥機などの水を扱う電気機器は、漏電が起きやすい最有力候補。水まわりの機器はもちろん、それ以外の機器でもコードをビニールテープなどでつないで使うのは大変危険です。漏電ブレーカーは、月に一度テストボタンを押して点検してください。

なお、点検の際、家の電源がOFFになりますのでご注意ください。

3 エアコンは専用回路でお使いください

エアコン・電子レンジ・食器洗い乾燥機は専用回路をご使用ください

留意

① 専用回路とは

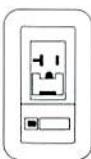
エアコンや電子レンジ、食器洗い乾燥機は他の家電製品に比べ電気使用量が大きくなっています。これらの電気機器に対しては専用のコンセント回路から電気を取るようにしてください。一般的のコンセント回路を使用した場合、ブレーカーが切れることがあります。

エアコンは、下地が入っているところに設置する必要があります。下地がないところに設置すると落下するおそれがありますので、設置の際は管理会社にお問い合わせください。



4 エアコン用スイッチ付コンセント

エアコンの電源プラグを抜かずにスイッチOFFで待機電力がカットできます。



- 必ずエアコンの動作が停止してからスイッチ操作を行ってください。
- エアコンに下記の機能が付いている場合、スイッチ操作で待機電力をカットするとその機能が停止します。
タイマーによる自動運転機能／リモコン待ち受け機能／モニター表示機能／自動掃除機能・自動除霜機能 など



5 保安灯

夜間はフットライトとして利用可能な保安灯です。

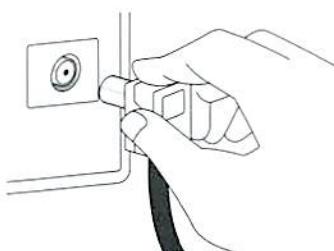
明るさセンサー「入」の状態で周囲の照度が低くなっても点灯しない場合は、電池交換が必要です。

留意

6 テレビ端子の接続

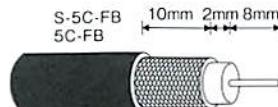
① テレビ端子の使い方

- 75Ω同軸プラグに同軸ケーブルを接続し、テレビ端子に根元まで差し込んでください。



② 75Ω同軸プラグの同軸ケーブルの取り付け方法

- (1) 接続するケーブルを図のように加工してください。



※3C-2V (FV)、TVEFCXは編組をうら返してください。

- (2) 加工したケーブルを図のように接続してください。



※芯線を固定し、編組線止め金具をペンチ等を使用し、しっかりとはさんで固定してください。

※芯線と編組が接触しないように注意してください。

電気

7 住宅用火災警報器

※形状はメーカーにより変わる場合があります。

[煙感知器]

煙感知器の警報音
(ビュー ビュー 火事です 火事です)
を発している場合の処置は…
作動灯(赤)が連続点滅



【火災の場合】

現場を確認し、119番に通報するなど適切な処置をしてください。

【火災でない場合】

煙以外でも次のような場合、煙感知器が鳴ることがあります。引きひもを引くか室内の換気をし、煙検知部の煙がなくなるとすぐに鳴りやみます。煙感知器本体を取り外さないでください。

【火災以外で警報音が発せられるケース】

- スプレー式殺虫剤・ヘアスプレーなどが直接煙感知器にかかったとき
- 濃厚なタバコの煙を煙感知器に吹きかけたとき
- くん煙式の殺虫剤などの煙が高濃度になった場合
- 調理時の煙、蒸気などが煙感知器にかかったとき

[熱感知器]

熱感知器の警報音
(ビュー ビュー 火事です 火事です)
を発している場合の処置は…
作動灯(赤)が連続点滅



【火災の場合】

現場を確認し、119番に通報するなど適切な処置をしてください。

【火災でない場合】

火災以外で次のような場合、熱感知器が鳴ることがあります。引きひもを引くか室内の換気をし、熱感知器の熱がなくなるとすぐに鳴りやみますので、熱感知器本体を取り外さないでください。

【火災以外で警報音が発せられるケース】

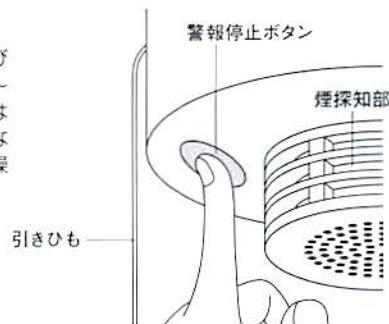
- レンジ、エアコン、ストーブの熱など

【煙感知器・熱感知器の警報音を止めるには】

- 煙がなくなるか温度が低くなれば警報音は停止します。
- 引きひもを引くか警報停止ボタンを押すと警報が止まります。

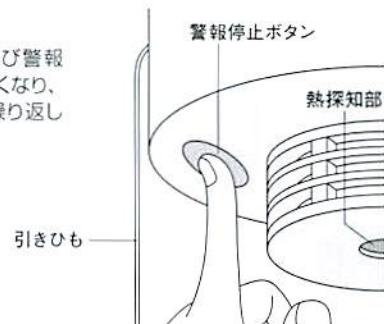
■煙感知器

煙が残っていると約5分後に再び警報します。(煙検知部に息を2~3回吹きかけられ、すぐに警報音は鳴りやみます。)煙検知部の煙がなくなり、自動停止するまで警報を繰り返します。



■熱感知器

温度が高いと約5分後に再び警報します。熱感知部の熱がなくなり、自動停止するまで警報を繰り返します。



煙感知器・熱感知器とも1ヶ月に1回以上、下記の点検をしてください。

【煙感知器・熱感知器の動作機能の点検】

- (1) 4秒以上警報停止ボタンを押し続けるか、引きひもを引っぱり続ける。
- (2) 警報音(ビュービュー火事です火事です)が鳴り、作動灯(赤)が連続点滅すれば正常です。
- (3) 警報音が鳴らないときは「異常時の点検・処置」P48をご覧ください。
警報停止ボタンを押すのをやめた後、または引きひもを戻した後、約5分間は熱・煙を検知せず、警報音(ビーピー)は鳴りません。



〈お手入れ方法〉

ホコリやクモの巣が表面につきますと、検知しにくくなります。下図の方法(～P48)でお手入れください。

●お手入れ時は高所作業となり、転倒・落物などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。



- お手入れ後、ヘッドを取り付ける場合は、ヘッドの表面がよく乾いてから取り付けてください。

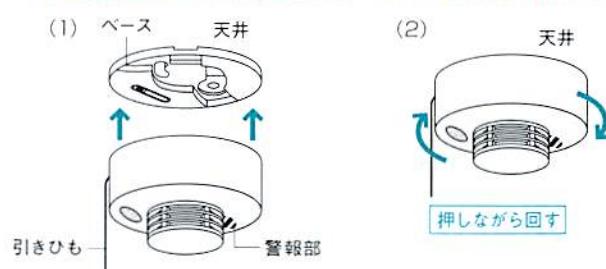
※取付ベースに本体をはめ、「カチン」と音がする位置まで右側へ回してください。

- ヘッド取り付け後、必ず動作確認をしてください。(上記参照)
感知器の表面および取り付け部付近の天井部分が汚れたりして、お手入れをされる場合は、ヘッドを取り外してください。
- ヘッドとベースを取り外したり、取り付ける時は、ヘッドの外周を持ってください。検知部を持つと、検知部が外れ、破損する場合があります。

【煙感知器・熱感知器のヘッドを取り外す】



【煙感知器・熱感知器のヘッドを取り付ける】



【煙感知器のヘッドのお手入れ】

●お手入れをする場合、布に水または石けん水をひたし、よく絞ってから汚れを拭き取ってください。



●お手入れのとき、感知器の内部に水が浸入しないように注意してください。



●感知器のお手入れには中性洗剤・塩素系漂白剤・ベンジン・シンナー・アルコールは使わないでください。感知器の表面に傷がつくおそれがあります。



●お手入れ後、煙検知部に異物（糸くず、水など）を残さないでください。誤作動の原因となります。



●煙検知部の小穴がホコリなどで詰まっている場合は、掃除機などでホコリを取ってください。



煙感知器・熱感知器のお手入れについて

煙感知器・熱感知器のお手入れについて、わからない場合は管理会社へご連絡ください。

●故障と思う前に 異常時の点検・処置について

修理・サービスを依頼される前に、次の点検および処置をしてください。

状態	点検	処理
火災ではないのに警報動作する。	煙感知器・熱感知器の近くに調理の煙や蒸気が滞留していないか？	煙、蒸気などを取り除く。(調理中で警報動作をし続ける場合は、換気扇などを回して引きひもを引っぱってください。)
	多量の殺虫剤を使用していないか？	窓やドアを開け、換気する。
	煙検知部にホコリなどがついていないか？	掃除機などでホコリなどを取り除く。
警報音が鳴りやまない。	煙が感知器内部に残っていないか？	息などを吹きかけ、煙を追い出してください。
	煙検知部にホコリなどがついていないか？	掃除機などでホコリなどを取り除く。
	熱が残っていないか？	うちわなどあおいで、温度を下げてください。
	警報停止ボタンが押されたままになってないか？または、引きひもが引っ掛かっていないか？	警報停止ボタンの解除、引きひもの引っ掛けを直してください。
引きひもを引っぱったり、警報停止ボタンを押しても動作しない。	ヘッドが正しく取り付けられているか？	ヘッドを取り付け直す。(P47 参照)

以下の異常事態のときは、管理会社に連絡してください。

状態	点検	処理
警報音（ピッ電池切れです）が鳴り出した。	—	警報停止ボタンを押すか、引きひもを引くと警報音は止まります。そのままにしておくと約16時間後に再び警報音が鳴るので感知器のヘッドを取り外し（P47 参照）管理会社に連絡してください。
引きひもを引っぱったり、警報停止ボタンを押しても動作しない。	—	感知器の故障が考えられます。管理会社に連絡してください。
警報音（ピッピッピッピッ故障です）が鳴り出した。	—	警報停止ボタンを押すか、引きひもを引くと警報音は止まります。そのままにしておくと約16時間後に再び警報音が鳴るので感知器のヘッドを取り外し（P47 参照）管理会社に連絡してください。

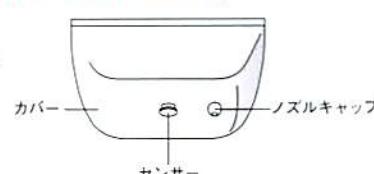
電気

8 住宅用自動消火装置

住宅用自動消火装置は、キッチンで火災が発生したときに、初期消火をするシステムです。

【住宅用自動消火装置カバーのお手入れ】

●中性洗剤溶液に浸した布をしぼって汚れを拭き取ります。洗剤が残らないよう、水でしぼった布で拭き取ります。



ノズルキャップはノズルを長期間保護するものです。ノズルが目詰まりすると消火薬剤が放射しないおそれがあります。
※ノズルキャップは絶対に外さないでください。



9 太陽光発電システム

太陽光発電システムは家庭で使用する電力を太陽から供給することができ、また家庭内で使い切れず余った電力は電力会社に買い取ってもらいます。太陽の光を利用することで環境保護に貢献できるうえに、モニター（リモコン）をチェックすることで、節電意識も高まります。

太陽光発電システム

詳しくは取扱説明書を参照してください。

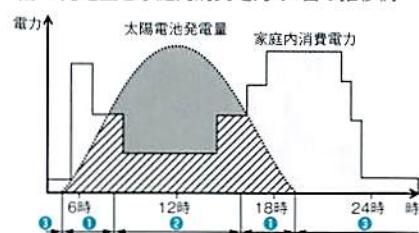
●太陽光発電 パワーコンディショナ運転モードについて

パワーコンディショナには、「連系運転」・「自立運転」の2種類のモードがあります。日常のご使用時は、連系運転モードにしてください。

【連系運転モード】

- パワーコンディショナの出力された電気は、ご家庭で使用されている商用電源線に出力され、家庭内の電気製品の電力に使用されます。
- 日没などで太陽電池出力がなくなった場合、パワーコンディショナは自動的に運転を停止し、翌朝など太陽電池が発電すると、自動的に運転を再開します。

図1：発電量と家庭内消費電力の1日の推移例



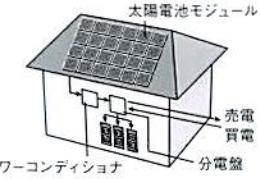
●売り電力(売電)と買い電力(買電)

■連系運転時、昼間に多く発電し余った電力が自動的に電力会社に送られている状態（②）を売電状態、発電しない夜間や雨などで発電電力が少ない時に、電力会社から電力の供給を受けている状態（①・③）を買電状態といいます。（図1参照）

■停電した時は、自立運転防止機能が動作し、パワーコンディショナは自動的に運転を停止します。停電が回復すると、自動的に運転を再開します。

【自立運転モード】

- 自立運転モードは停電時の非常用電源としてお使いいただくための機能です。リモコンの右側面にあるボタンで自立運転モードに切り替えると、太陽光発電で発電した電気を自立運転専用のコンセントに供給します。AC100V（最大1,500Wまで）が使用できますが、余った電気を電力会社に売ったり、不足分を購入することはできません。



カラー電力モニタ

●カラー電力モニタの各部の名前と働き

パワーコンディショナの運転や発電の状態を売買電状態表示ランプでお知らせします。また、パワーコンディショナの運転モードを運転状態表示ランプでお知らせします。

※メーカーによって切り替えボタン位置などが異なりますので、詳しくは取扱説明書を参照してください。

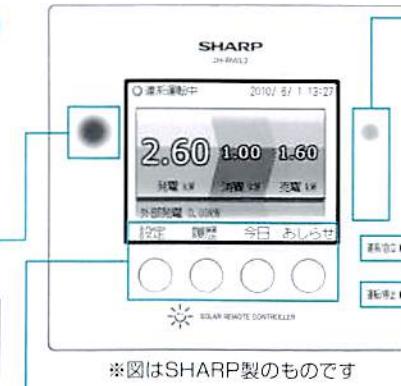
売買電状態表示ランプ

パワーコンディショナの売買電状態を示します。

青色点灯	売電状態（発電して余った電力を電力会社に売っている状態）
橙色点灯	買電状態（不足している電力を電力会社から買っている状態）
橙色点滅	パワーコンディショナの点検中
消灯	上記以外の状態

ボタン名表示エリア（設定 履歴 今日 おしらせ）

下部の操作ボタンで実行できる機能名を表示します。画面によって表示が変わります。機能を実行するには、下部の操作ボタンを押します（画面を押しても動作しません）。



操作ボタン（○○○○）

ボタン名表示エリアに表示されている機能を実行します。

本文中では、ボタン名と合わせて「履歴」や「設定」のように表記しています。また、ディスプレイ表示が消えているときに、いずれかの操作ボタンを押すと、トップ画面を表示します。

太陽光発電パワーコンディショナ

●ディスプレイの表示が消えている時は

約1分間、何も操作を行わないとディスプレイの表示が自動的に消えます。ディスプレイの表示が消えている時は、運転などの操作ができません。その場合は、リモコンの画面表示ボタンを押してディスプレイの表示をつけてから操作を行ってください。

●エラー表示が出たら…

太陽光発電システムでエラーが発生した時は、ディスプレイにエラーメッセージを表示します。表示内容にしたがって対処してください。エラーレベルが表示されましたら、そのエラーレベルを管理会社へご連絡ください。

■パワーコンディショナを緊急停止する



- 万一、煙が出たり、変な音やにおいがしたりなど異常が発生した場合は、パワーコンディショナ本体右側の「緊急停止ボタン」を押し、管理会社にご連絡ください。
- 誤って緊急停止ボタンを押した場合も同様です。

※場合によっては、有料での対応となりますのでご注意ください。



10 ガス

1 ガスもれに気づいたら!!

ガス栓を閉め、換気をして、直ちにガス会社へ連絡してください。



危険

ガスは正しく使えば安全ですが、使い方を間違うと非常に危険です。共同住宅では特にまわりに迷惑がかからないよう、取り扱いに注意しましょう。

ガスもれに気づいたら即!!

- ガスもれに気づいたら、プロパンガス・都市ガスともに窓を開け自然換気してください。



危険

まず、窓を開けて換気する



プロパンガスは空気よりも重いので、窓を開けた後で玄関等の扉から掃くように出すとはやく換気できます

ガスもれしたら電気関係のスイッチを入れないでください!!

電気器具のスイッチを入れると小さな火花が出てガスに引火するおそれがあります。タバコなどの火気ももちろん厳禁です。

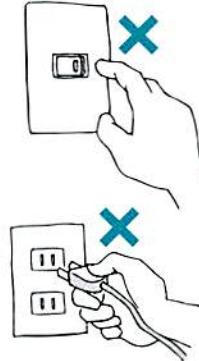


危険

換気扇を回さない



スイッチ類にふれない



ガスもれ近くで電話をかけない



火気厳禁



■ガス使用上の注意事項

- ガス器具の使用中は部屋の換気に注意しましょう。
- ガスの使用開始には、事前にガス会社へ連絡し、ガス会社の点検を受けてから使用しましょう。手持ちのガス器具も点検を受けて使用してください。ガスの種類が異なると、大きな事故につながることがあります。
- ゴム管はガス会社の検査済みのものを使いましょう。
- ゴム管を十分に差し込んで、両端をゴム管止めでしっかりと止めましょう。
- 差し込み口のゆるくなったゴム管は、その部分を切り取って使いましょう。
- ゴム管の長さは3mまでにしてください。
- ゴム管と、ガスコンロの火や器具自体(熱くなるところがある)との間は、安全な距離を確保しましょう。
- ゴム管に天ぷらの油などがかかると、ゴムを侵して危険であるばかりでなく、着火しやすくなるので拭き取りましょう。

- 古くなったゴム管はガスもれのおそれがありますので、早めに取り替えましょう。ガスもれは石けん水を塗ると泡が立つことで点検できます。

- 使っていないガスコックには、ゴム栓をかぶせておきましょう。
- ガス栓を閉める順序は(1)器具栓(2)元栓の順です。開ける時はこの逆で行います。中途半端に閉めずに最後までしっかりと閉めてください。
- ガスコンロは手入れをよくし、特にガスの出る穴はよく掃除しましょう。
- ガスコンロの設置の際は、コンロの炎が壁にかかるないように壁際との隙間をとってください。



危険

電気

ガス

11 水道

1 水栓金具のお手入れ

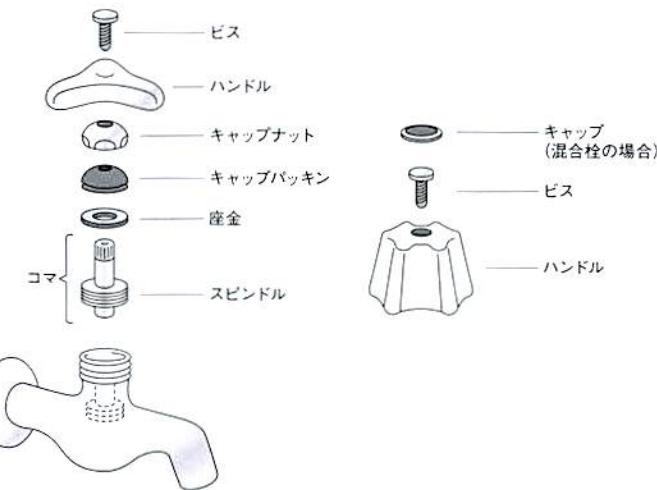
お手入れを怠ると、メッキしていてもサビる（細かい無数の穴が開いていて、この穴に水が入り込む）こともあります。時々、乾いた布で拭くなどお手入れをしてください。

混合栓を使用の際は、先に水から出す習慣をつけましょう。いきなり熱湯が出てくると、火傷などのおそれがあり危険です。また、止める時はお湯の水栓から止めましょう。（蛇口が水・湯の2つ場合）



注意

●各部の名称

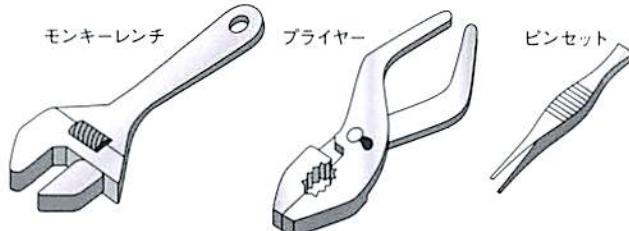


2 水栓から水もれする時

パッキンを交換してください

■パッキンの交換方法

※修理前に必ず止水栓の位置を確認して閉めてください。

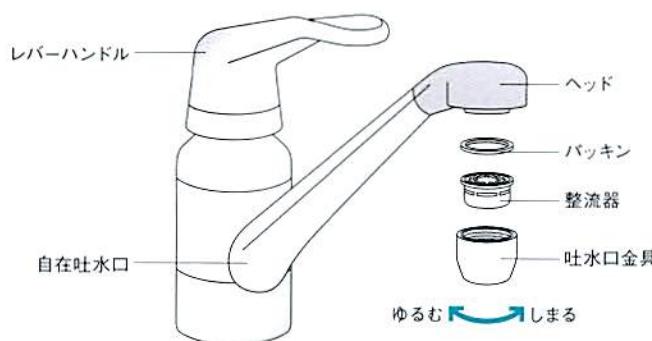


①シングルレバー混合栓のお手入れ

- 止水栓が閉まっているか確認します。
- 水栓内にたまつた水がこぼれないように、シンク内に吐水口を向けてください。
- 吐水口金具を外し、整流器・パッキンに傷みがないかを確認してください。ゴミなどがあれば取り除いてください。

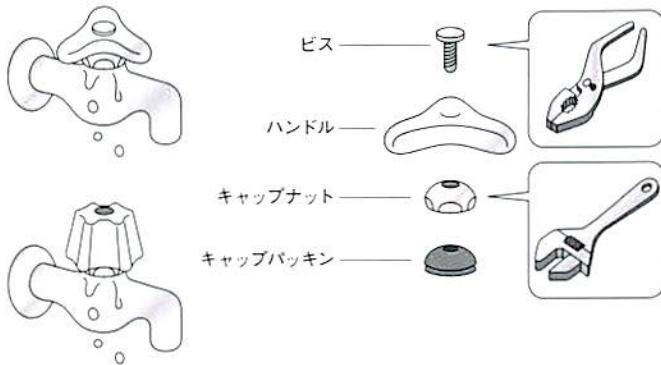
②吐水口から水もれしている場合

- 止水栓が閉まっていることを確認します。
- ビスをプライヤーで回し、ハンドルを外します。
- キャップナットはモンキーレンチで外し、座金などを順番に外します。
- ピンセットでコマを取り出します。
- コマを新しいものと交換し、取り外した部品を順番に取り付けます。
※コマの交換が難しい時は、管理会社へ連絡してください。



③ハンドルの下から水もれしている場合

- (1)止水栓が閉まっていることを確認します。
- (2)ビスをプライヤーで回し、ハンドルを外します。
- (3)キャップナットをモンキーレンチで外し、裏についているキャップパッキンを取り出します。
- (4)ゴミが付着していた場合は取り除きます。傷んでいる場合は新しいものと交換し、取り外した部品を順番に取り付けます。



④水栓金具の取り替え

パッキンを取り替える場合は、給水栓全体の取り替えが必要です。最近多い混合水栓などの修理はご家庭では難しいため管理会社に相談してください。

※水が止まらない場合は修理依頼してください。

■水道の安全上・使用上の注意事項



注意

- 器具の左側は給湯側のため高温になっています。金具(金属)の表面に直接肌を触れないでください。火傷をするおそれがあります。
- 高温の湯をお使いのときには吐水パイプは高温になっています。直接肌を触れないでください。火傷をするおそれがあります。
- レバーハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐水してください。高温の湯が出て火傷をするおそれがあります。
- 高温の湯をお使いの後は、器具内に高温のお湯が残らないように、しばらく水を流してください。次に使用すると、器具内に滞留した高温のお湯が出て火傷をするおそれがあります。
- 水栓、レバーハンドルの操作はゆっくりと行ってください。「がたつき」の原因になったり、急に止水することで配管内の圧力が急激に上昇し、水撃音(ウォーターハンマー)が発生するおそれがあります。
- 寒冷地仕様の場合は、水抜き栓は水抜き以外の目的で開かないでください。水抜き栓をいきなり開けると高温のお湯が出て火傷をしたり、湯湯が吹き出して、家財などをぬらすおそれがあります。
- 寒冷地仕様の場合凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。凍結破損で水もれし、家財などをぬらすおそれがあります。

3 凍結の防止対策

①水道管と給湯器の凍結防止

冬場、極度に気温が下がると水道管内の水が凍ることがあります。凍結すると、水栓金具にひびが入ったり、破損したりしますので凍結させないように次の項目をご参考ください。



注意

- 冷え込みそうな夜は、水栓や給湯栓を少し開いて水が棒状に流れるようにしておくと凍結を防止できます。
- シングルレバー混合栓の場合、レバーを左右に振らずにセンターで水を出してください。この時、給湯器のリモコンのスイッチは「切」にしてください。

水道管が凍結した場合は、熱湯はかけないでください。急激な膨張で水道管が破裂するおそれがあります。



注意

●水道管が凍結した場合

ぬるめのお湯を少しづつかけるか、ヘアドライヤーなどでゆっくりと温めます。また、凍結によって水道管が破損してしまった場合は、メーター横にある元栓(主バルブ)を閉め、至急管理会社にご連絡ください。有料工事となる場合がありますので、冬場に凍結のおそれがある場合は、忘れずに凍結防止対策を行ってください。

②ガス給湯器の凍結防止

- 通常の寒さの時(外気温-15℃までで無風の時)
リモコンの運転スイッチ「入・切」に関係なく、凍結防止ヒーターが作動し、本体内を保温します。
この時電源プラグを抜くと作動しませんので、抜かないでください。
- 冷え込みが厳しい時
運転スイッチを「切」にし、ガス栓を止め、お風呂の給水栓を開け、少量の水を流したままにしておいてください。
※詳しくは、機器の取扱説明書をご覧ください。

水道

③寒冷地仕様トイレの凍結防止(水抜き栓が付いている場合)

- 水抜き栓が付いている場合、凍結のおそれがある時や長期不在にする時は、水抜き栓を操作して水を抜いてください。
- トイレは水抜き栓で水を抜いた後、ロータンクの洗浄ハンドルを回してタンク内を空にして凍結を防止します。

12 給湯

1 ガス給湯器の使用上のご注意

必ずメーカーの取扱説明書をお読みください

① ガス給湯器の用途について

台所、シャワー、洗面、浴槽以外には使用しないでください。
給湯器の操作方法は使用場所および機種により異なりますので、詳しくは取扱説明書をご覧ください。

② 長期間使用しない場合

長期不在等で使用しない時は機器内の水抜きをします。
水抜きの方法は機種により異なる場合がありますので、備え付けのガス給湯器の取扱説明書をご覧の上、処置してください。

■ ガス給湯器取り扱い上の注意事項



警告

- 機器の周囲や排気トップのそばに燃えやすいものを置かないでください。
- 機器の周囲で揮発性の薬品などを使用しないでください。
- 排気口近くには、危険物、植木、ベット、その他加熱すると困るのは置かないでください。
- 排気口をふさがないでください。
- 停電中は使用できません。再通電してから操作してください。
- 排気口が洗濯物などで覆われないようにしてください。
- 機器本体を分解しないでください。

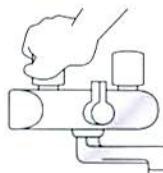
③ 異常時の処置

- 機器および配管からの水もれ
- 機器および配管からのガスの臭気
- 運転中の機器からの異常音
- 機器の外観の異常

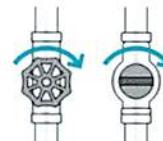
以上のような現象がある場合は、下記の応急処置を行い管理会社へすぐにご連絡ください。



危険



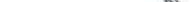
(1) 給湯栓を閉める。(お湯の使用場所)



(2) 止水栓、ガス栓を閉める。(給湯器廻り)



(3) 電源プラグをコンセントから外す。(給湯器廻り)



(4) 処置完了後、すぐ管理会社(ガス会社)へご連絡ください。

2 電気給湯器(ヒートポンプ式給湯器・電気温水器)

必ずメーカーの取扱説明書をお読みください

① 最初に電源を入れる時

タンク内に水が入っていることを確認してから電気給湯器の電源を入れてください。

水を入れないで電源を入れるとヒーターの寿命が短くなります。

② 漏電ブレーカーのテスト

2ヶ月に一度程度、電気温水器本体に付いているテストボタンを押し、漏電ブレーカーが確実に作動しているか確認してください。テストは夜の深夜電力時間帯内(電力会社によって多少異なります)を行い、確認後はスイッチを忘れずONにしてください。

③ 長期間使用しない場合

長期不在等で使用しない場合は、電源スイッチを切り機器内の水抜きをします。水抜き方法は機種により異なる場合がありますので、ご家庭の電気温水器の取扱説明書をご覧のうえ、処置してください。

※水抜きしたまま通電を行うと空炊きにより故障する場合があります。

留意

3 電気給湯器(ヒートポンプ式給湯器・電気温水器)のお手入れ

乾いた布で拭き掃除、月に一度は排水栓を開けて排水

① 本体のお手入れ

本体が汚れた時は、乾いた布で拭くか中性洗剤を薄めて布に含ませてください。シンナーなどは本体を傷めますので使用しないでください。

② 槽内のお手入れ

1ヶ月に一度程度、排水栓を開けて約2分間排水し、水アカ、サビを防止してください。この場合、お湯が出てくることがありますのでご注意ください。

③ 電気温水器からの排水

通電中、安全弁より排水管を通して水が出ることがありますが、これは膨張水を排水しているためで故障ではありません。常時流れ出ている場合は、2~3度安全弁を上下してください。それでも止まらない時は、管理会社へご連絡ください。

13 バルコニー・他

1 バルコニー

■バルコニーのご使用について

- バルコニーの床には重量物を載せないようにしてください。床が変形したり、割れたりすることがあります。重量物にあたるエアコンの室外機を置く場合には直接置かず、敷板等を敷いてその上に置いてください。
- 水を流さないでください。階下に漏水することがあります。
- エアコン室外機の排水は、排水口に流れ込むようにしてください。(タイプによって差し込むものもあります。)
- バルコニーの排水目皿や、グレーチングはこまめに掃除しましょう。



注意

●隔壁板の外し方

突き破れるようになっています。



●隔壁板を外した時には

火災による避難や、万一パネルを外してしまった場合には、管理会社へ連絡してください。

■転落の危険

- バルコニーの手すりに登らないでください。



警告

■隔壁板の使い方

非常にバルコニーづたいに隣の住戸へ避難する場合、隔壁板を突き破ってください。隔壁板のそばには、避難のさまたげとなるので荷物や物置などを絶対に置かないでください。



警告

■物干金物のご使用について

- 物干金物への荷重は1本につき20kgとなっています。20kg以上となるものは、載せないでください。
- 物干金物にぶらさがらないでください。
- 洗濯ロープは使用しないでください。物干金物が横に引っ張られ、破損の原因となります。



注意

■避難ハッチについて

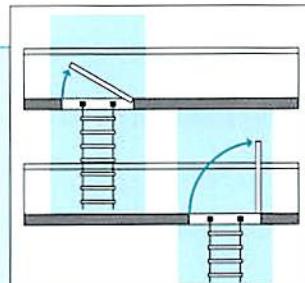
建物のバルコニー部分や通路などに避難ハッチが設置されている共同住宅があります。この避難ハッチは、災害時に階下へ避難できるよう、常時使用できる状態にしておく必要がありますから、下記のことをお守りください。

- (1)右図の色アミ部分にものを置かないでください。
- (2)避難ハッチやその周辺に水を流さないでください。

ハッチがサビついて使用できなくなる場合や流した水が下のバルコニーへ水もれしますのでご注意ください。



警告



2 その他ご注意

■エアコン室外機設置台に乗らないでください

- 建物によってはエアコン室外機専用の設置台がついています。この上には絶対に人は乗らないでください。
- 積載荷重は80kgまでとなっています。



警告

■バルコニーご使用の注意事項

- バルコニーの上に植木鉢がある場合、水をやる時に階下の洗濯物をぬらさないよう、注意してください。
- バルコニーに水を流したり、こぼしたりしないでください。



注意

■バルコニーからの落下

- バルコニーの手すりに登らないでください。
- バルコニーにものを置かないでください。お子様が乗って転落するおそれがあります。
- バルコニー手すりにものを置かないでください。落下すると大変危険です。
- エアコン室外機に乗らないでください。転落するおそれがあります。



警告

14 | 共用部分

廊下や階段などの共用スペースは他のご入居者の方も利用されます。室内と同様にいつもきれいに掃除しましょう。

●ご近所と仲良く暮らすポイントとして、ゴミ置き場、廊下、階段、駐車場、駐輪場などの共用スペースにものを置かないでください。また、ゴミ出しは決められた日に、決められた場所へ出しましょう。

■廊下・階段について

- 廊下・階段の床板はモルタル仕上げや、セメント成型品が使用されていますが、重いものを落としたり、強い衝撃を与えないでください。破損のおそれがあります。
- 廊下・階段の床仕上げに、防滑シート・防音マットが使用されている場合があります。本製品については、火気(タバコ・灰等)・溶剤系(塗料・シンナー等)の落下、付着のないように心がけましょう。
- 共用部分ですので、自転車、ベビーカーなど私物を置かないでください。
- 階段の昇り降り、廊下の歩行は静かにしましょう。
- 引っ越し時や大きな荷物を搬入する時に廊下・階段の手すりを外さないでください。復元が難しく大変危険です。
- 真夜中にドアを乱暴に開閉したり、階段・廊下を走ったりすることも避けてください。特に、早朝・深夜は静かに歩行してください。また、車などで遅く戻った時には、できるだけ早くエンジンを切るよう心がけましょう。



注意

■廊下からの転落

- 階段や廊下の踊り場にものを置かないでください。お子様が乗って転落するおそれがあります。



警告

■廊下からの落下

- 階段や廊下の手すりにものを掛けないでください。落下すると大変危険です。



警告

■階段の踏み外し

- 階段の踏み外しによりケガをすることがあります。階段を昇り降りする時には階段手すりを利用してください。



注意

ペット飼養のご注意

ペット飼養にあたって

●はじめに

■物件によってはペット飼養が可能です。詳しくは管理会社にお問い合わせください。

●心構え

■他の居住者の立場を尊重し、快適な生活環境の維持向上を図るように努めてください。

■命あるものである動物の本能、習性を理解するとともに、飼い主としての責任を自覚し、動物を終生、適正に飼うように努めてください。

■「動物の愛護及び管理に関する法律」「狂犬病予防法」「犬及び猫の飼養及び保管に関する基準」などの法律や条令を遵守してください。

ペットと清潔・快適に暮らすためのご注意

●室内の使用

■室内は常に清潔になるよう心がけ、糞尿等の始末はこまめに行ってください。

■壁、床等は可能な限り傷を付けないように注意してください。万一ペットによる傷、汚れ等の損害が生じた場合はご退居時に原状回復を行ってください。

■バルコニーでは以下のことを行わないでください。またペットにさせないでください。

- ①トイレの設置および排泄行為
- ②グルーミング、トリミング、シャンプーの実施
- ③隣戸への侵入
- ④犬小屋などの常設

■ペットの予測不能な行動によって火災が発生することがないよう注意してください。

■近隣の苦情となりやすいので、犬が無駄吠えをしないようにしつけてください。

●室外の諸注意

■室外での放し飼いは禁止します。

■共有部（通路、階段、エントランス等）で、ペットに餌を与えたる、排泄をさせないでください。

■散歩で外出する時、万一室外で排泄した場合には、糞便を必ず持ち帰り衛生的に始末してください。

■ペットの毛等の手入れは室内で行い、共有部は常に清潔になるよう努めてください。

■共有部では、抱きかかえられるペットは抱きかかえ、中型以上の犬等はリードを短く持ち、

飼い主の側に引き寄せるようにしてください。

●その他

■飼養を認められている動物で、ゲージでの完全飼養が適正であると認められている動物を除いて、動物の繁殖は禁止します。

セキュリティサービス・インターネットサービスのご注意

セキュリティサービスについて

■警備内容などご不明点は、ホームセキュリティシステムなどに記載されている警備会社または、管理会社へお問い合わせください。

インターネットサービス使用上のご注意

■常時接続インターネットサービス（以下インターネットサービスと表記）が完備されている賃貸住宅住様の建物において、このインターネットサービスを利用する際はサービス提供会社に個別に申込み願います。

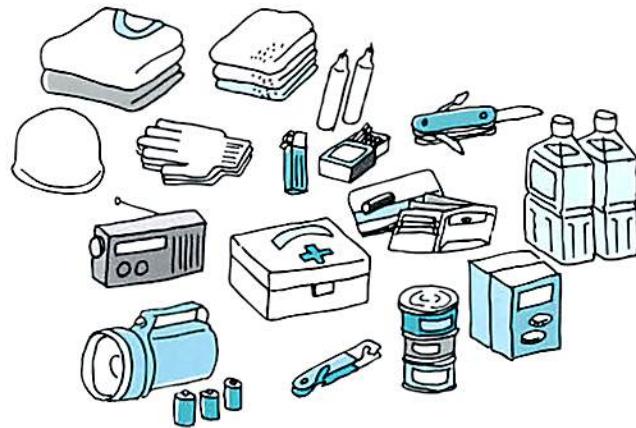
災害時の緊急対応

災害・緊急時に備えて

天災は忘れた頃にやってくる。言い古された言葉ですが、台風や増水による河川の氾濫、地震、火災など、災害による住まいの損壊は、今の時代でも決して他人事ではありません。ガス器具や電気機器を使用する機会が増え、2次災害が発生した時の被害の規模は昔をはるかに上回ります。最新の技術から生まれるダイワハウスの住宅は、耐震、耐火、耐久性に優れた構造ですが、それでも安全に万全はないと考えるべきです。災害から住まいと生命を守るために、生活様式が複雑化した分、備えるべき知識や装備は、昔よりも増えていると言えます。共同住宅では、個人のちょっとした不注意や知識不足によって災害が大きくなることもあります。逆に、突発的な災害に対しても、あらかじめの注意や配慮によって被害を最小限に止める事もできます。ひとりひとり、防災上の注意事項をよく理解しておき、いざという時にもあわてず、適切な行動がとれるよう心がけてください。

●災害時に備えての注意事項

- 非常食、懐中電灯、ラジオなど災害時に必要なものは常時持ち出せるように準備しておきましょう。
- 万が一の災害対策として、保険関係の更新手続きなどを十分チェックしておいてください。



●災害にあった場合

- 万が一被災した場合は、保険の申請のため十分に安全が確保できることを確認の上、災害の状況写真を詳細に撮影しておくようにしてください。
- 避難命令などが出た時は、その指示に従ってください。
※警察や消防の規制や指示には従ってください。

台 風

●台風通過前の注意事項

- 雨戸を閉めて施錠し、窓も閉めてカギを掛けてください。
- 風で隣家などに物が飛んで行かないように、屋外の片付けをしてください。

地 震

●地震発生時の注意事項

- ガスを使用している場合は、すぐにガスを消して元栓も必ず閉めてください。
- 暖房器具の使用を止めてください。
- 地震が完全におさまるまでテーブルなどの下に入って避難してください。
- 上から物が落ちるがあるので普段から上の方に重いものを載せたり、不安定な置き方をしないでください。

火災の予防について

●防火のチェックポイント

ガスコンロ

- ゴムホースはホースバンドでしっかりと固定してください。
- 使用中は必ず換気をしてください。
- 使用中に来客などでその場所を離れる時は、必ず火を消してください。
- ガス台の付近は整理整頓し、燃えやすいものは置かないでください。
- 使用していないガスコックには必ずキャップをはめておきましょう。
- 使用後は必ず元栓を閉めてください。
- ガスグリルの排気口は、ふきんなどでふさがないでください。

家電製品

- タコ足配線は、絶対にしないでください。
- アイロンやヘアドライヤーは子どもの手の届かない所に置いてください。
- アイロン使用中に来客などでその場所を離れる時は、必ずコンセントを抜いてください。
- アイロン使用中は、アイロン台を使用し、不安定な所に置かないでください。
- アイロン使用後は、必ず温度が下がったことを確認してから収納してください。

ストーブ

- カーテンや障子などからは十分に離してください。
- 給油の際にこぼれた油は完全に拭き取ってください。
- 火がついたままで移動、給油しないでください。
- 外出時、就寝時は必ず火を消してください。
- 新しく購入したものは、必ず取扱説明書を読んでから使用してください。

その他

- コンセントは1ヶ所（2口、4口の場合は合わせて）1,500Wを超えて使用すると過熱して発火する危険があります。
- 寝タバコは絶対にやめてください。

放火を防ぐために

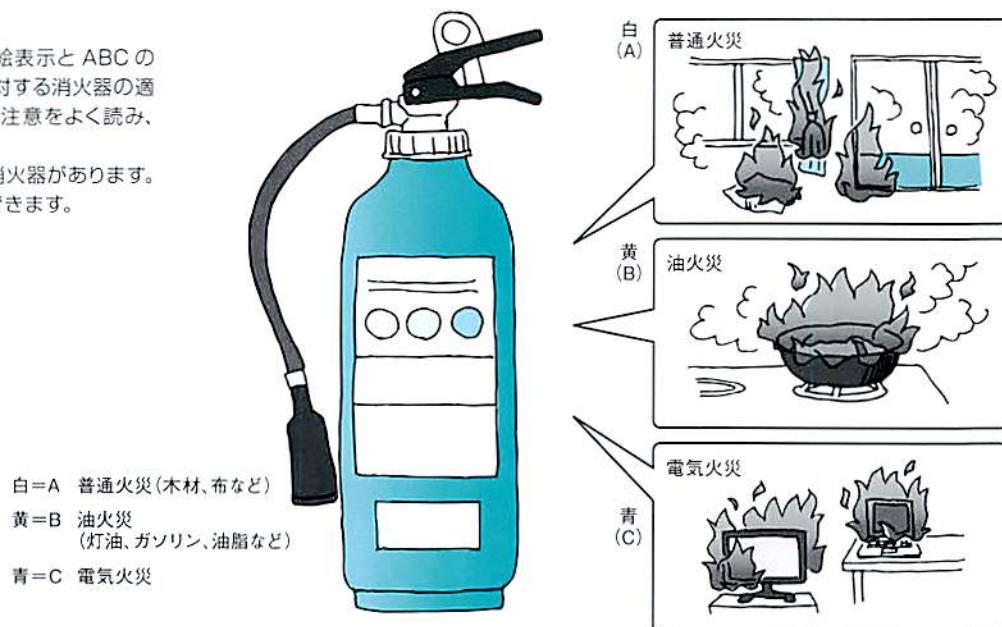
- 家の周辺に燃えやすいものを置かないでください。
- ゴミは決められた日に出すようにしてください。

火災が起きた時の対処方法について

● 消火器の種類

消火器は、ラベルに白丸・黄丸・青丸の絵表示とABCの表示があります。これは、火災の種類に対する消火器の適応性を示しています。普段から使用上の注意をよく読み、取り扱い方を熟知しておいてください。

消火器には粉末(ABC)消火器と強化液消火器があります。ABC消火器は、いずれの火災にも対応できます。



初期消火は次の手順で行ってください。

● 初期消火

火災による被害を大きくするか小さく留めるかは初期消火によって決まります。どんな火災でも始めのうちは小さな火。生命にかかわる危険を犯してはなりませんが、初期消火そのものは私たちの義務ともいえます。

119番に通報しても、消防車は瞬時には到着できません。その数分間が初期消火の要です。



油鍋に火が移った時

- ①濡らしたシートなどを手前からかぶせます。
- ②消火器を使用する時は、油が飛び散って火傷をしないように離れて（3m程度）かけてください。
- ③火を消したら直ちにガス栓を閉めてください。ガスグリルの排気口は、ふきんなどでふさがないでください。



床が燃えている時

- ①粉末消火器は手前から火元へ向かってかけます。
強化液消火器は上部から炎を包み込むようにかけてください。
- ②平面の火災は、毛布や布団、水をたっぷり含ませたシートでも効果があります。



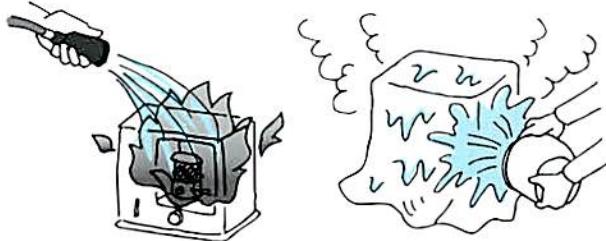
粉末消火器



強化液消火器

石油ストーブが燃えている時

- ①可能であれば倒れたストーブは引き起こし、周囲にある燃えやすいものは取り除きます。
- ②消火器をストーブの芯をめがけて真上からかけます。
- ③毛布や布団で火を包み込むようにかぶせ、水をかけます。



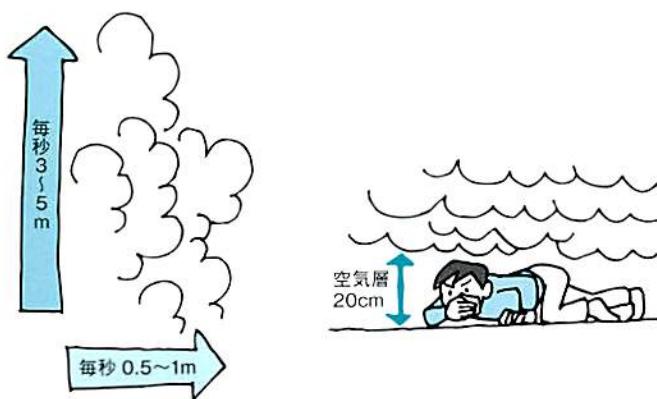
ふすまが燃えている時

- ①バケツの水を半円を描くように炎の上部からまく。
- ②粉末消火器は火元の方からかけます。強化液消火器は上部から炎を包み込むようにかけてください。
- ③表と同時に裏も燃え上がるるので、必ず裏も消火ができたか確認してください。



煙の性質

- 煙が上昇する速さは毎秒3~5m、横方向の広がりは毎秒0.5~1mです。
- 煙だけでなく目に見えない一酸化炭素等の有害ガスの危険も心に留めておく必要があります。
- 煙の中を避難する場合は、ハンカチやタオルを口にあて、四つんばいになり体を低くして煙を吸わないようにします。空気があるのは床上20cm程度です。



電気製品が燃えている時

- ①コンセントからプラグを抜くか、分電盤のブレーカーを切れます。
- ②感電するおそれがあるので水は使用せず、消火器をご使用ください。



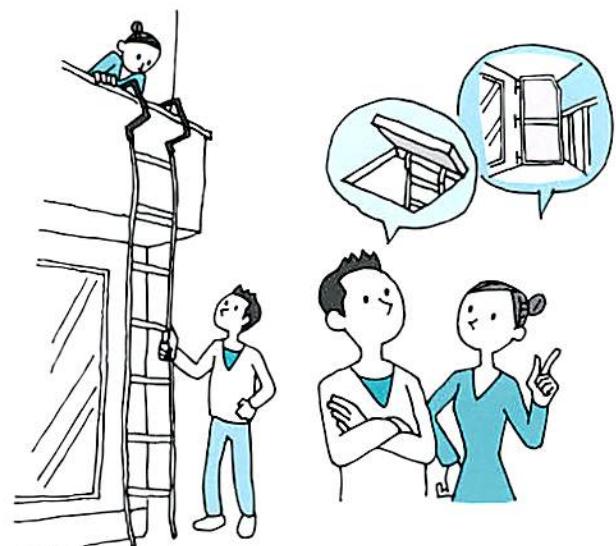
電気コタツが燃えている時

- ①コンセントからプラグを抜くか、分電盤のブレーカーを切れます。
- ②布団の上から水をかけて火の勢いを抑える。
- ③布団を外し消火器で火を完全に消してください。



避難時の備え

- 避難ハシゴやロープを備えておきましょう。
- 普段から2つ以上の避難口（避難方法）を決めておきましょう。



※火災が起きた時の対処は、ご自身に危険がおよばない範囲で行なってください。

共に創る。共に生きる。

私たちは「人・街・暮らしの価値共創グループ」として、暮らしの新たな価値を創り、心豊かな社会の実現を目指します。



- お困りの時には、管理会社にご連絡ください。
- 当冊子は、ご入居のみなさまに快適な暮らしをお手伝いするためにご用意した
ダイワハウスの賃貸住宅D-ROOMの取扱説明書です。
- 当冊子はこの号室用のものです。ご退居時には、必ず管理会社にご返却ください。



Daiwa House
大和ハウスグループ

大和ハウス工業株式会社

東京本社 集合住宅事業本部 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号 〒102-8112
本社 集合住宅事業本部 大阪市北区梅田3丁目3番5号 〒530-8241

www.daiwahouse.co.jp

大和ハウスグループの経営のシンボルである「エンドレスハート」は、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
© Copyright 2023 DAIWA HOUSE INDUSTRY CO.,LTD. All rights reserved.

〈賃貸住宅事業〉

大和ハウス工業

大和リビング

大和ハウス賃貸リフォーム

D-ROOM
ダイワハウスの賃貸住宅

D-ROOM
ダイワハウスの賃貸住宅

HeartOne Reform
大和ハウスリフォーム



森林育成紙・使用

私たちは、持続可能な木材利用を進め、豊かな森林を次世代につなげます。



エコ・ファースト企業
環境大臣認定

